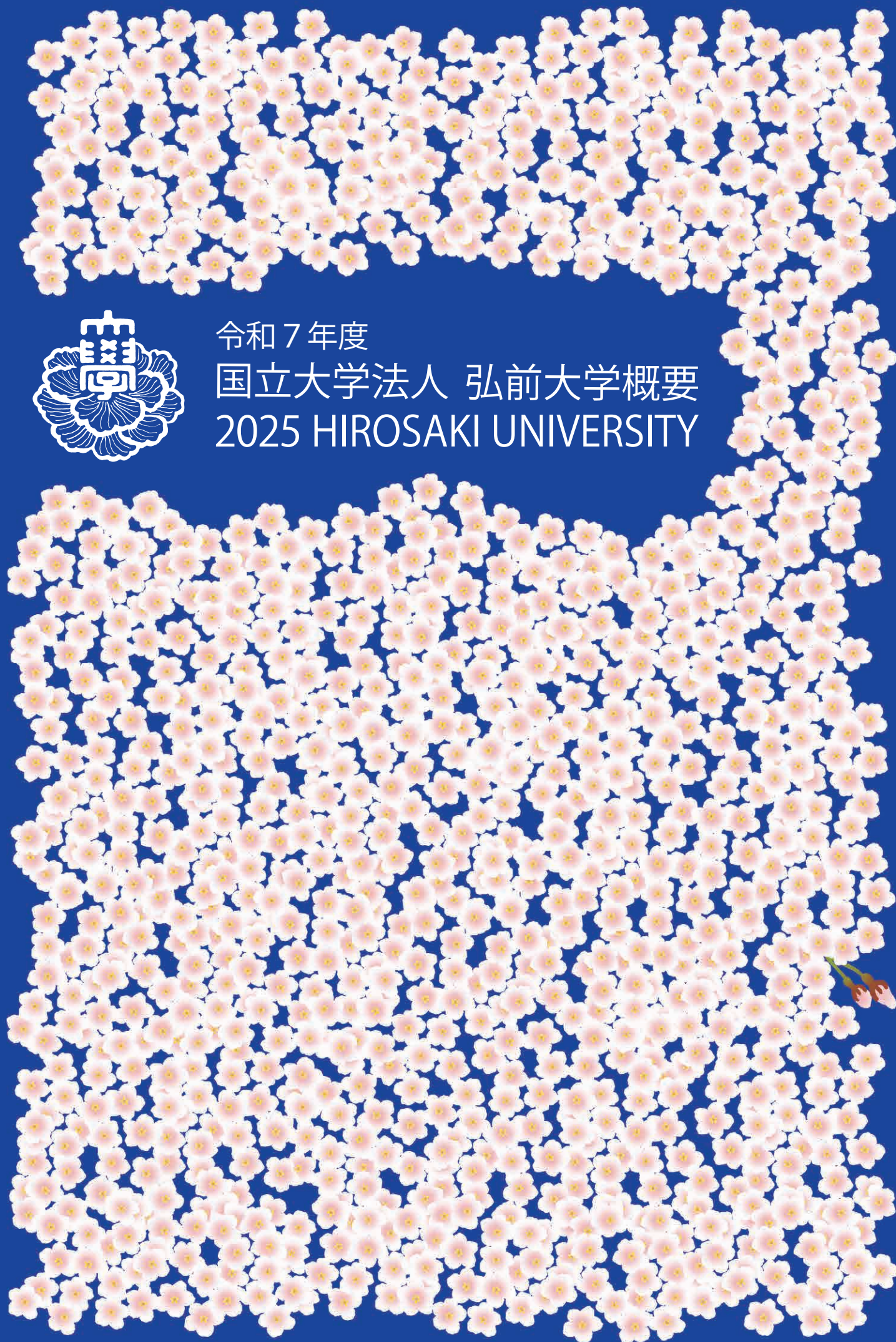




令和7年度
国立大学法人 弘前大学概要
2025 HIROSAKI UNIVERSITY



CONTENTS

02	学長メッセージ
03	理念・基本方針
05	歴代学長・沿革
07	組織
08	事務機構
09	学部・大学院
14	附属図書館
15	医学部附属病院
17	附置研究所
18	学内共同教育研究施設／本部
20	機構
25	特定プロジェクト教育研究センター
【データ編】	
26	ロゴマーク
27	役職員等
28	教職員数
29	入学志願者数
30	学部学生数
31	大学院学生数／教育学部附属学校
32	卒業・修了者数／学位授与者数
33	進路・就職状況
34	外国人留学生数
35	国際交流
37	国内機関との連携協定等
39	財務状況
41	キャンパス
45	土地・建物
46	サテライト
47	部局等所在地
48	アクセス

学長メッセージ



世界に発信し、
地域と共に創造する

国立大学法人弘前大学長 福田真作

弘前大学を代表してご挨拶申し上げます。

第14代弘前大学長に就任した2020年、新型コロナウイルス感染症に見舞われました。しかし、教職員をはじめ、在学生や卒業生、そして保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力により、この困難を乗り越え、日常の大学生活を取り戻すことができました。関係するすべての皆様に、心より感謝を申し上げます。

弘前大学は、旧制弘前高等学校、青森師範学校、青森医学専門学校などを母体として、昭和24年(1949年)に新制大学として創立され、70年以上の歴史を刻んでまいりました。国立の総合大学としては、名称に県名を冠しない数少ない大学の一つであり、また、県庁所在地ではない都市名を冠する唯一の国立総合大学でもあります。この背景には、戦争末期の青森(市)空襲という悲劇が深く関わっています。全焼した青森師範学校と青森医学専門学校の存続を願う関係者の努力により、空襲の被害を免れた弘前市への移転が実現し、新制弘前大学が誕生しました。こうした歴史的背景もあり、キャンパス内には本学の誕生に関連する記念碑などが多数設置されています。また、夏の「弘前大学市民 Day」、秋の「総合文化祭」では、一部の学内施設を含めて市民の皆様にキャンパスを開放し、地域との絆を深めています。

弘前大学は、地域と共に歩む地方大学ですが、本学で育成される人材や、地域課題の解決に向けた教育研究の成果は、決して地域限定のものではなく、世界に通用するものです。「世界に発信し、地域と共に創造する」というスローガンのもと、教育研究、人材育成、社会貢献に資する活動を推進しています。

例えば、昨年度、本学は念願であった「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択されました。これは国民・県民の大きな期待を受けるものであり、研究大学群の一翼を担う責任を果たしながら、ビジョンに掲げた「グローバル Well-being 社会の実現」に向けて、確実に事業を遂行してまいります。

また、2029年の創立80周年に向けた先行事業として、「教養教育海外派遣プロジェクト」を昨年度より開始しました。このプロジェクトでは、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、異文化に触れ、多様な価値観を理解する機会を提供することを目的に、学生・役員・教職員を太平洋戦争末期に激戦地となったパラオ共和国へ派遣する計画です。こうした活動は、本学の教育理念に共感いただいた皆様のご支援によって成り立っています。ご寄附をいただいた皆様に感謝申し上げますとともに、本学の教育研究活動や学生の活躍を、今後とも温かく見守っていただければ幸いです。

弘前市は、歴史と伝統が息づき、文化の薫り高い街であり、本学を含む5つの大学を擁する学園都市でもあります。また、レトロな建物やおしゃれな店、美味しい飲食店など、魅力的なスポットが多く、四季折々に全国的なイベントが開催されます。縁あって本学に入学した学生の皆さんが、この恵まれた環境下で自らを育み、未来に向かって大きく羽ばたく社会人へと成長することを心より願っています。



理念・基本方針

理 念

弘前大学は、教育基本法 の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

基本方針・弘前大学将来ビジョン

「世界に発信し、地域と共に創造する」をスローガンに掲げる弘前大学は、地域の「強み」でもある再生可能エネルギー、環境、被ばく医療及び食の4テーマを大学としての重点分野に位置付け、教育研究と地域連携を推進してきた。第3期中期目標期間にあつては、地域の特性に着目した研究成果に基づいたイノベーションの創出が実現したほか、教育研究、国際化及び管理運営面においても確実な成果を挙げることができた。第4期中期目標期間においても、地域のニーズや国の政策を的確に踏まえつつ、これまで積み重ねてきた本学の「強み」に更なる価値を創造することで、より一層地域の活性化に寄与し、地域社会全体の持続的発展を牽引することを基本方針とする。

新型コロナウイルス感染症を契機に起こった大きな社会変動を受け、地方創生の中核として、本学の特色ある世界水準の研究力を基盤とした社会変革・地域創生を先導するイノベーションの創出と人材育成及び研究開発を推進する。

また、地域の「知」の拠点である本学の更なる発展を目指して、「特色ある地方国立大学」への転換を加速させる。そのために必要な教育・研究組織の再編・機能強化、少子化に向けた入試改革、学修者本位の教育改革及びポストコロナ時代の新たな国際化を推進する。

さらに、少子高齢化が進む地域の医療過疎の問題は我が国の地方創生を妨げる重要な課題でもあることから、高齢化が顕著な青森県において地域医療を担う本学が主体となつて、各自治体と連携し、地方創生の基盤となる持続可能な新たな地域医療提供体制の構築を目指す。

以上の取組を実現するため、中長期的視点に立ち、学長のリーダーシップの下で、これまでの固定観念にとらわれない大胆かつ戦略的な経営・運営の改革を実行する。



教育改革

Society5.0で実現する社会では、共感力や対話力、創造力がより重要視される。そうした基礎力に加え、文理横断的な知を備えた、国際社会の変革や地域創生に臨機に対応できる人材の育成を目指し、教育改革を推進する。

学修者本位の教育の原点に基づき、教学 IR の積極的活用、数理・データサイエンス教育の全学導入などを進め、FD の充実と学生の学修成果の可視化を図るほか、学生への各種支援をより一層強化する。

また、入試結果に基づいた入学選抜方法などを検証するとともに入試広報の充実によって、多様な人材の確保に努める。

研究推進

国際的レベルの研究、新領域を開拓する基礎的研究、地域を守り、育てる研究を推進する。その中で、若手・女性研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際共同研究の促進や人材育成の視点に基づき研究力を強化していく。

また、研究分野としては、環境・エネルギー・放射線、食・自然、健康寿命延伸、地域力向上、文化資源の活用を本学の重要なテーマと位置付け、研究の推進を図る。

大学の国際化

国際化は、高等教育機関である大学にとって不可欠な要素である。「攻めの農林水産業」を展開する青森県においても、農林水産品の輸出拡大を図っていく上でグローバルな視点を備える人材を求めており、地域と共に歩む本学においてもそのような人材の育成は重要な課題である。

本学や海外協定校への双方向の留学等（国際交流）に加え、オンラインを活用した国際的な教育研究の連携と環境整備を行い、ポストコロナ時代に対応した国際化の質的変換を図るとともに、地域と連動した取組を推進する。

地域連携・地域貢献

地域課題の解決や社会実装に役立つ教育や研究を通じて、地域を牽引する人材を育成し、地域定着を推進するとともに、イノベーション創出に取り組む。

「地域を支え、地域から支えられる大学」として、これまで培ってきた大学、自治体、産業界等との連携基盤をより一層強固なものとし、地域貢献を推進していくために、本学が先導し中核的な役割を果たすことにより、地域の活性化や地方創生を実現していく。

管理運営

教育・研究・地域貢献・高度医療等に係る大学の目標・計画について、学長がリーダーシップを発揮し、全学が共通認識を持ちながら、一体となって前進することを目指したガバナンスの強化を図る。こうした観点から、学内の管理運営体制、事務組織、職務の遂行方法などについて不断の見直しを行うとともに、大学運営の基盤となる財政力の強化を目指す。

教育・研究組織

第3期中期目標期間に実施した学部・大学院・研究所の改組を検証し、高等教育機関として必要な基盤学問領域を維持するとともに、本学の機能強化を発展させるべく、不断の改革を進める。今後の教育・研究組織の再編にあっては、それを支える教員組織の在り方についても見直す。

医療

地域の最後の砦として専門的かつ高度な最先端の医療を提供するとともに、情報通信技術などを活用し遠隔地への医療支援を推進する。

また、医師をはじめとする各種医療人材の育成や臨床研究などによる先進的医療技術の研究・開発に努めるため、教育・研究機関としての機能強化を図り、施設整備計画を推進するため経営基盤をより一層強化する。

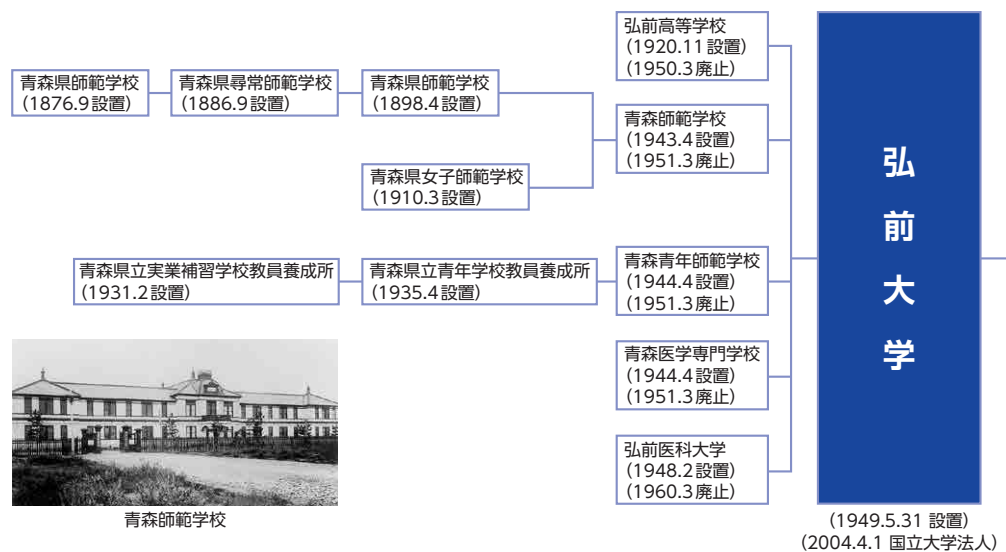
歴代学長・沿革

歴代学長

初代	医学博士／理学博士	丸井清泰	1949.5.31～1953.8.19
	事務取扱	畠野壮子路	1953.8.19～1954.1.31
第2代	理学博士	郡場寛	1954.2.1～1957.12.15
	事務取扱	畠野壮子路	1957.12.15～1958.1.31
第3代	理学博士	野村七録	1958.2.1～1962.1.31
第4代	医学博士	佐藤熙	1962.2.1～1968.1.31
第5代	経済学博士	柳川昇	1968.2.1～1972.1.31
第6代	医学博士	臼淵勇	1972.2.1～1978.1.31
第7代	医学博士	大池弥三郎	1978.2.1～1982.1.31
第8代	教育学博士	牧野吉五郎	1982.2.1～1986.1.31
第9代	医学博士	東野修治	1986.2.1～1992.1.31
第10代	理学博士	手代木渉	1992.2.1～1996.1.31
第11代	医学博士	吉田豊	1996.2.1～2002.1.31
第12代	医学博士	遠藤正彦	2002.2.1～2012.1.31
第13代	医学博士	佐藤敬	2012.2.1～2020.3.31
第14代	医学博士	福田眞作	2020.4.1～



旧制弘前高等学校



学内共同教育研究施設等

- 保健管理センター(1967.6.1設置)
- アイントープ総合実験室(1999.10.1設置)
- 出版会(2004.6.28設置)
- 資料館(2012.10.1設置)

附属図書館

- 医学部分館(1949.5.31設置)

(1949.5.31設置)

本部

- 環境安全推進本部(2023.10.1設置)
- 国際連携本部(2013.4.1設置)…(2016.10.1再編)
- 地域創生本部(2018.10.1設置)…(2020.4.1再編)
- 情報連携統括本部(2019.4.1設置)
 - 情報基盤センター(2019.4.1設置)
- Well-being社会実装本部(2024.7.1設置)
- 次世代研究者育成推進本部(2025.3.1設置)

機構

- 教育推進機構(2012.7.25設置)…(2015.10.1再編)
 - 教養教育開発実践センター(2015.10.1設置)
 - アドミッションセンター(2015.10.1設置)
 - キャリアセンター(2016.4.1設置)
 - 数理・データサイエンス教育センター(2022.4.1設置)
 - 教職支援センター(2024.4.1設置)
 - 学生特別支援室(2019.4.1再編)
 - 学生修学支援室(2021.4.1設置)
- 研究・イノベーション推進機構(2013.12.16設置)
 - 共用機器基盤センター(2019.4.1設置)
- 被ばく医療連携推進機構(2019.10.1設置)
 - 放射線安全総合支援センター(2015.10.16設置)(2019.10.1移管)
 - 災害・被ばく医療教育センター(2022.4.1設置)
- 健康未来イノベーション研究機構(2022.6.1設置)
- リチウム資源総合研究機構(2023.7.1設置)

その他

- 評価室(2004.4.1設置)
- 法人内部監査室(2008.4.1設置)
- 男女共同参画推進室(2009.10.1設置)
- 技術部(2019.12.1設置)

学部

人文社会科学部 (2016.4.1 改組)	・文理学部設置(1949.5.31) ・人文学部改組(1965.4.1) ・人文社会科学部改組(2016.4.1)
文化創生課程 社会経営課程	
教育学部 (2016.4.1 改組)	・教育学部、野辺地分校設置(1949.5.31)、野辺地分校廃止(1960.3.31) ・養護教諭養成所設置(1966.4.1)、廃止(1980.3.31) ・教育学部改組(2016.4.1)
学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程	●附属幼稚園(1949.5.31 設置) ●附属教育実践総合センター(2001.4.1 改組) ●附属小学校(1949.5.31 設置) ・附属教育実践研究指導センター(1988.4.8 設置) ●附属中学校(1949.5.31 設置) ●附属教員養成学研究開発センター(2003.10.1 設置) ●附属特別支援学校(2007.4.1 改称) ●附属次世代ウェルビーイング研究センター(2023.7.1 設置) ・附属養護学校(1974.4.1 設置)
医学部 (2020.4.1 改組)	・医学部設置(1949.5.31) ・医学部附属看護学校設置(1951.4.1)、廃止(1977.3.31) ・医学部附属助産婦学校設置(1957.4.1)、廃止(1975.4.21) ・医学部附属衛生検査技師学校設置(1967.4.1)、附属臨床検査技師学校改称(1972.4.1)、廃止(1978.3.31) ・医学部附属診療放射線技師学校(1969.4.1)、廃止(1979.3.31) ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学部改組、医学部保健学科設置(2000.10.1) ・医学部心理支援科学科設置(2020.4.1) ●附属病院(1949.5.31 設置)
医学科 保健学科 心理支援科学科	
理工学部 (2016.4.1 改組)	・文理学部設置(1949.5.31) ・理学部改組(1965.4.1) ・理工学部改組(1997.10.1) ・理工学部改組(2016.4.1)
数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	
農学生命科学部 (2016.4.1 改組)	・文理学部に[農学科]設置(1951.4.1)、廃止(1955.3.31) ・農学部設置(1955.7.1) ・農学生命科学部改組(1997.10.1) ・農学生命科学部改組(2016.4.1)
生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	●附属生物共生教育研究センター(2000.4.1 改組) ●附属遺伝子実験施設(2011.4.1 移管) ・附属農場(1956.4.1 設置) ・遺伝子実験施設(1993.4.1 設置) ●附属白神自然環境研究センター(2018.4.1 移管) ・白神自然観察園(2009.4.1 設置) ・白神自然環境研究所(2010.10.1 設置)

大学院

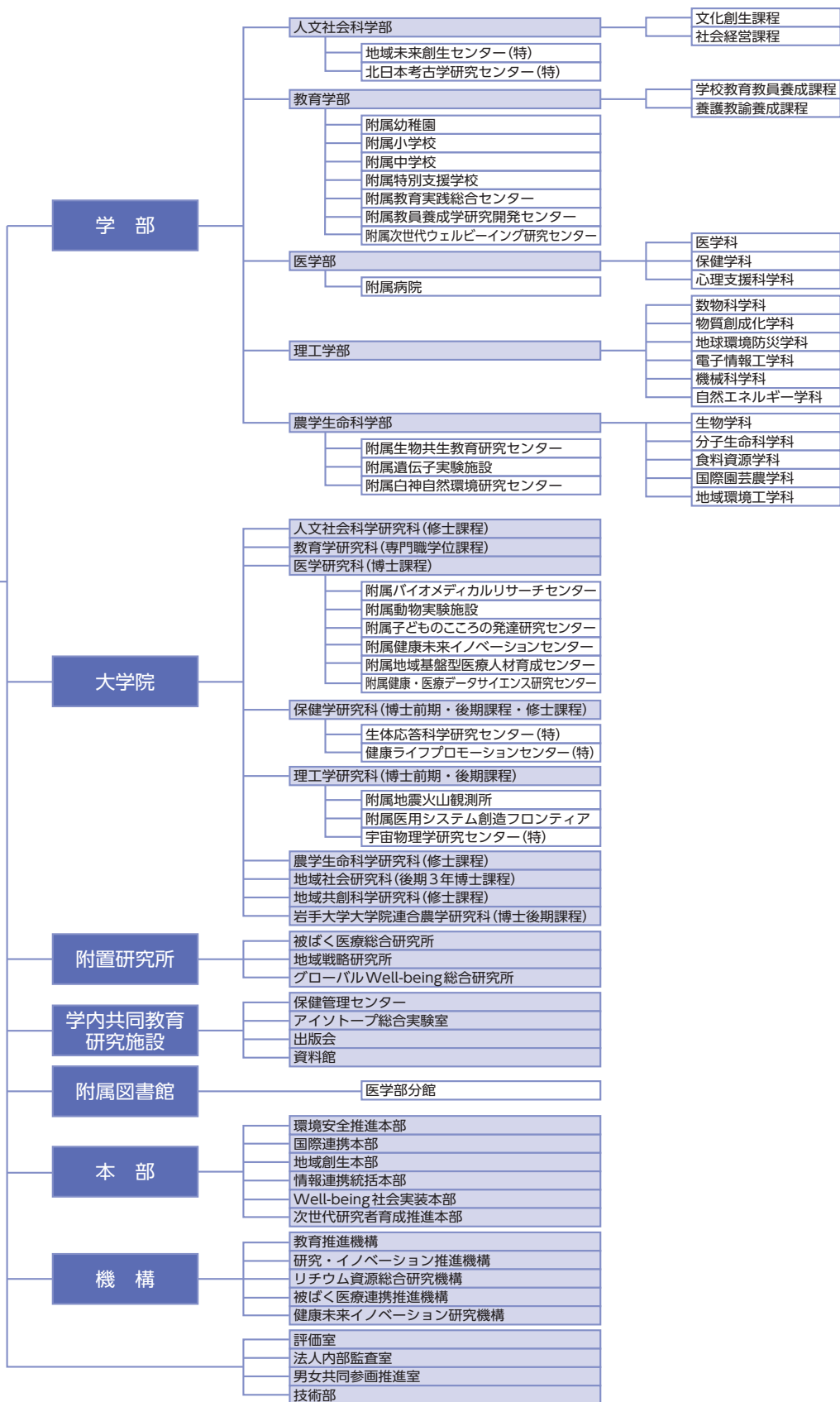
人文社会科学研究科(2020.4.1 改組)	・人文学専攻科設置(1972.4.1)、廃止(1999.3.31) ・人文学研究科(修士課程)設置(1989.4.1) ・人文社会科学研究科(修士課程)改組(1999.4.1) ・人文社会科学研究科(修士課程)改組(2020.4.1)
教育学研究科 (2020.4.1 改組)	・教育専攻科設置(1966.4.1)、廃止(1994.3.31) ・教育学研究科(修士課程)設置(1994.4.1)、廃止(2020.3.31) ・教職実践専攻(専門職学位課程)設置(2017.4.1) ・教職実践専攻(専門職学位課程)改組(2020.4.1)
医学研究科 (2007.4.1 改称)	・医学研究科(博士課程)設置(1958.4.1) ・医学系研究科改称(2005.4.1) ・医学研究科(博士課程)改称(2007.4.1) ●附属バイオメディカルリサーチセンター(2024.1.1 改組) ●附属動物実験施設(1979.4.1 設置) ・附属脳卒中研究施設(1965.4.1 設置) ・附属脳神経疾患研究施設(1989.5.29 改組) ・附属脳神経血管病態研究施設(1999.4.1 改組) ・附属高度先進医学研究センター(2005.4.1 設置) ●附属子どものこころの発達研究センター(2014.4.1 設置) ●附属地域基盤型医療人材育成センター(2022.10.1 設置) ●附属健康未来イノベーションセンター(2020.8.1 移管) ●附属健康・医療データサイエンス研究センター(2023.4.1 設置) ・健康未来イノベーションセンター(2017.2.22 設置)
保健学研究科 (2007.4.1 設置)	・医学系研究科保健学専攻(修士課程)設置(2005.4.1)、廃止(2016.3.31) ・保健学研究科(博士前期・後期課程)設置(2007.4.1) ・保健学研究科(修士課程)設置(2024.4.1)
理工学研究科 (2010.4.1 改組)	・理学専攻科設置(1969.4.1)、廃止(1978.3.31) ・理学研究科(修士課程)設置(1977.4.1) ・理工学研究科(修士課程)改組(2002.4.1) ・理工学研究科(博士前期・後期課程)設置(2004.4.1) ・理工学研究科(博士前期課程)改組(2010.4.1) ●附属地震火山観測所(1981.4.1 設置) ●附属医用システム創造フロンティア(2014.4.1 設置)
農学生命科学研究科(2012.4.1 改組)	・農学専攻科設置(1960.4.1)、廃止(1971.3.31) ・農学研究科(修士課程)設置(1971.4.1) ・岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)参加(1990.4.1) ・農学生命科学研究科(修士課程)改組(2002.4.1) ・農学生命科学研究科(修士課程)改組(2012.4.1)
地域社会研究科 (2002.4.1 設置)	・地域社会研究科(後期3年博士課程)設置(2002.4.1)
地域共創科学研究科(2020.4.1 設置)	・地域共創科学研究科(修士課程)設置(2020.4.1)

附置研究所

被ばく医療総合研究所(2010.10.1 設置)	・被ばく医療教育研究施設設置(2010.3.23) ・被ばく医療総合研究所設置(2010.10.1)
地域戦略研究所 (2018.4.1 設置)	・北日本新エネルギー研究センター設置(2009.3.23) ・北日本新エネルギー研究所設置(2010.10.1) ・食料科学研究所設置(2013.3.25) ・地域戦略研究所設置(2018.4.1)
グローバル Well-being 総合研究所 (2024.7.1 設置)	・グローバル Well-being 総合研究所設置(2024.7.1)

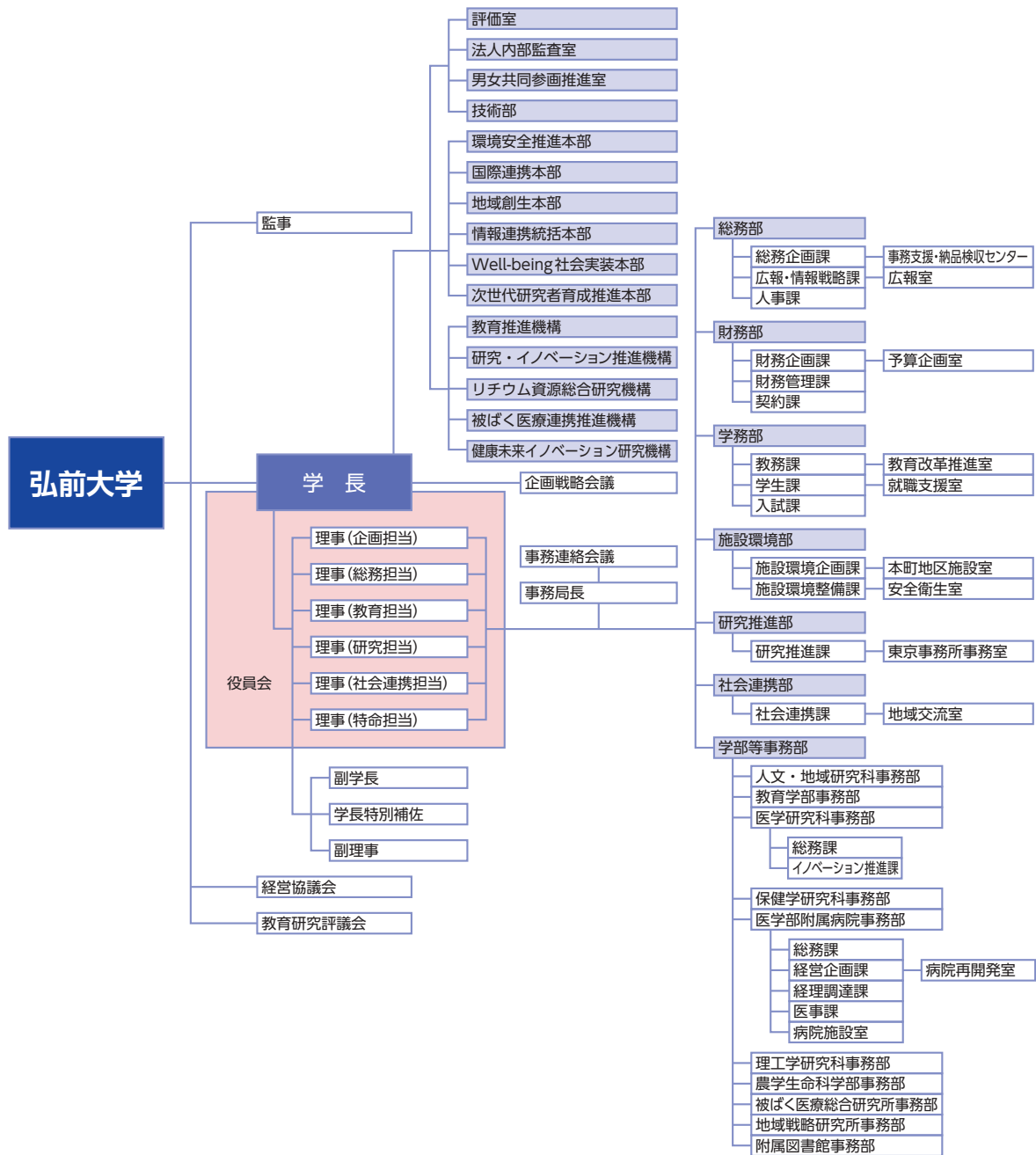
組織

弘前大学



※(特)は特定プロジェクト教育研究センターを示す。

事務機構



学部・大学院



人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の主要な高等教育研究拠点のひとつです。少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。

- 文化創生課程 文化資源学コース／多文化共生コース
- 社会経営課程 経済法律コース／企業戦略コース／地域行動コース

大学院

人文社会科学研究科 (修士課程)

Graduate School of Humanities and Social Sciences (Master's Course)

グローバル化と共生の時代に人文社会科学の深奥を究める

人文社会科学研究科は、人文社会科学専攻のもとに、文化芸術コース・現代共生コース・政策科学コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色ある教育・研究を通して、グローバル化と共生の時代に相応しい資質・能力を身につけた人文社会科学系の高度専門職業人として、我が国の文化の振興や経済・産業の活性化等の面から人間社会の発展に寄与する人材の養成を目的としています。

- 人文社会科学専攻
文化芸術コース／現代共生コース／政策科学コース



教育学部

Faculty of Education

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、次世代ウェルビーイング研究センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。

- 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻／特別支援教育専攻
- 養護教諭養成課程

大学院

教育学研究科 (専門職学位課程)

Graduate School of Education (Professional Degree Course)

理論と実践の往還・融合

教育学研究科は、教職実践専攻をもつ専門職大学院です。教育実践力に秀でた新人教員の育成とミドルリーダーの養成を目的に、現職教員学生を対象にした「ミドルリーダー養成コース」と学部新卒学生を対象とした「学校教育実践コース」、「教科領域実践コース」、「特別支援教育実践コース」の4コースを設置しています。青森県が直面している教育課題に対して、理論と実践の往還・融合を通じて、その解決に向けた教育実践を創造しリードする教員を養成します。

- 教職実践専攻 (専門職学位課程)
ミドルリーダー養成コース／学校教育実践コース／教科領域実践コース／特別支援教育実践コース



医学部医学科

School of Medicine

医学部医学科では以下のような
「理念・目的」を定めています

- ①人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- ②豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力を持つ医師、医学研究者を養成します。
- ③それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- ④高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

●講座等は大学院医学研究科に所属

大学院

医学研究科 (博士課程)

Graduate School of Medicine (Doctoral Course)

高度で専門的な教育・研究を行います

医学研究科は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

●医科学専攻

神経解剖・細胞組織学／生体構造医科学／統合機能生理学／ゲノム生化学／感染生体防御学／社会医学／法医学／糖鎖工学
消化器血液免疫内科学／循環器腎臓内科学／呼吸器内科学／内分泌代謝内科学／腫瘍内科学／がんゲノム医療学／神経精神医学／小児科学／胸部心臓血管外科学／消化器外科学／整形外科／リハビリテーション医学／皮膚科学／泌尿器科学／眼科学／耳鼻咽喉科・頭頸部外科学／放射線腫瘍学／放射線診断学／産科婦人科学／麻酔科学／脳神経外科学／歯科口腔外科学／形成外科学／救急災害・総合診療医学／臨床検査医学／病理診断学／小児外科学／医学医療情報学／薬理学／輸血・再生医学／医療安全学／医療倫理学

●附属教育研究施設等

〈附属バイオメディカルリサーチセンター〉
脳神経病理学／血管・炎症医学／脳神経生理学／脳神経内科学／分子生体防御学／病態薬理学／分子病態病理学

〈附属動物実験施設〉

〈附属子どものこころの発達研究センター〉

〈附属健康未来イノベーションセンター〉

先制医療学

〈附属地域基盤型医療人材育成センター〉

医学教育学

〈附属健康・医療データサイエンス研究センター〉

医療データ解析学

〈寄附講座〉

不整脈先進治療学／先進移植再生医学／地域医療学／脳卒中・血管内科学／大館・北秋田地域医療推進学／地域医療支援学／地域救急医療学／

総合地域医療推進学／生体高分子健康科学／心臓病遠隔管理システム開発学／むつ下北地域医療学／先進血液浄化療法学／地域周術期管理医学／

地域侵襲制御医学／心臓病態先進治療学

〈共同研究講座〉

アクティブライフプロモーション学／先制栄養医学／女性の健康推進医学／野菜生命科学／フローラ健康科学／Well-being推進医学講座／食と健康科学／

メタボリックサインオペレーション学／デジタルニュートリション学／分子輸送学／データヘルス研究／ビューティウェルネス学研究／健康寿命延伸学／

オーラルヘルスサイエンス学／ミルク栄養学研究／予防医学推進学／体内環境モデリング研究／デジタルヘルスケアワークスタイル研究／健康長寿デザイン／

表情・体・心連関科学／健康ライフサイエンス研究／移動体験・Well-being研究／ヘルスケア AI システム学／先端ファイトケミカル健康学／

ウェルネスフードイノベーション

〈共創研究所〉

明治安田×弘前大学 QOL 共創研究所



医学部保健学科

School of Health Sciences

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。

- 看護学専攻
- 放射線技術科学専攻
- 検査技術科学専攻
- 理学療法学専攻
- 作業療法学専攻

医学部心理支援科学科

School of Clinical Psychological Science

心理学を中心とする高度な専門知識・技能、 豊かな人間性・倫理性を兼ね備えた心理支援職の養成

医学部心理支援科学科は、医学部の3番目の学科となる、公認心理師養成を想定した学士課程として、令和2年4月に開設されました。本学科では、心理学・臨床心理学だけでなく、医学・保健学など専門領域に関する知識と技能の修得と科学的思考力、こころの問題に対する感受性、悩める人に寄り添う姿勢、生命に対する高い倫理性の涵養を図ります。そして、心理支援職としての役割を通して、地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する人材を育成します。

大学院

保健学研究科

Graduate School of Health Sciences (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積するとともに、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“メディカルスタッフ”の育成を目標とします。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

- 保健学専攻
看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

【博士後期課程】

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身に付けた教育者・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

- 保健学専攻
看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

【修士課程】

高度な専門的知識を有し、協調性・問題解決力を備えた心理支援職の育成

保健学研究科心理支援科学専攻修士課程では、学部教育において培われた能力を土台として、心理学及び医学・保健医療に関する高度な専門的知識及び技能を修得します。また、多領域の専門職との連携によるチームアプローチを実践できる協調性並びに地域や職域における心理学的問題をリーダーとして解決に導くための力を有し、高い倫理観と責任感を持った心理支援職を育成することを目的とします。

- 心理支援科学専攻
心理支援科学領域



理工学部

Faculty of Science and Technology

科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探究する力、先端技術社会を支える科学を進展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。

- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

大学院

理工学研究科

Graduate School of Science and Technology (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる高度専門職業人の育成を目指しています。4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、従来の既成概念にとらわれない、基礎と応用及びその境界領域を含む、学際性を重視した理工融合を特徴とする高度専門教育を行っています。

●理工学専攻

数物科学コース／物質創成化学コース／地球環境防災学コース／
電子情報工学コース／機械科学コース／自然エネルギー学コース

【博士後期課程】

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職業人及び研究者の養成に重点を置いた教育を行っています。

●機能創成科学専攻 ●安全システム工学専攻

【附属教育研究施設】

- ・附属地震火山研究所
- ・附属医用システム創造フロンティア

【共同研究講座】

- ・リチウム資源循環工学講座



農学生命科学部

Faculty of Agriculture and Life Science

生物学、農学、経済、工学における 実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ、創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。

- 生物学科
- 分子生命科学科
- 食料資源学科
- 国際園芸農学科
- 地域環境工学科

【附属教育研究施設】

- ・附属生物共生教育研究センター
藤崎農場／金木農場
- ・附属遺伝子実験施設
- ・附属白神自然環境研究センター

白神自然観察園



大学院

農学生命科学研究科 (修士課程)

Graduate School of Agriculture and Life Science (Master's Course)

農学生命科学分野において 高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、食料資源学、国際園芸農学、地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム(研究者養成)又は実践研究プログラム(専門技術者養成)からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者、時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

●農学生命科学専攻

生物学コース／分子生命科学コース／食料資源学コース／
国際園芸農学コース／地域環境工学コース

学部・大学院

大学院

地域社会研究科 (後期3年博士課程)

Graduate School of Regional Studies (Doctoral Course)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

●地域社会専攻

大学院

地域共創科学研究科 (修士課程)

Graduate School of Sustainable Community Studies

“地域社会の未来を切り拓く フロンタランナー”を育成

地域共創科学研究科は、2020年に設立された総合的な大学院です。社会学・工学を中心とした地域リノベーション専攻と、経営学・農学を中心とした産業創成科学専攻の2専攻で構成され、弘前大学の人文社会科学部、教育学部、理工学研究科、農学生命科学部、地域社会研究科、地域戦略研究所の教員が教育・研究に参加しています。文系・理系の院生が共に新たな価値をつくりだす文理共創と、地域と大学が協働して新たな価値を生み出す域学共創を通して、地域課題解決に資する高度な専門性と俯瞰性を兼ね備えた「地域社会の未来を切り拓くフロンタランナー」の育成を目指します。

●地域リノベーション専攻

コミュニティデザイン領域／レジリエンステクノロジー領域

●産業創成科学専攻

食産業イノベーション領域／グローバルビジネス領域

岩手大学大学院

連合農学研究科 (博士後期課程)

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University
(Doctoral Course)

国際水準を目指す研究者や 高度専門職業人の養成

本研究科は、弘前大学、岩手大学、山形大学、福島大学の4大学院農学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、地域環境創生学に関する先端的・学際的諸研究を推進することです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業、社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

●生物生産科学専攻

●生物資源科学専攻

●地域環境創生学専攻

附属図書館



附属図書館

University Library

地域に開かれた“知の交錯する場所”へ

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在、約840,000冊の図書資料、約25,900種類の雑誌を所蔵し、電子ジャーナル約13,500誌や電子ブック約9,600点の閲覧が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日でも開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し、一般の方への貸出も行っています。また、ホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、学術情報リポジトリ、デジタルアーカイブ等の情報発信を行っています。

蔵書数

2025 (令和7) 年3月31日現在

区 分	本 館		医学部分館		合 計
	和漢書	洋 書	和漢書	洋 書	
合 計	536,996	157,231	82,981	62,607	839,815

利用状況

2024 (令和6) 年度

区 分	開館日数	入館者数	貸 出	
			人数	冊数
本 館	299	188,058	24,233	42,359
医学部分館	330	26,919	3,158	5,319
合 計		214,977	27,391	47,678



英語学習のための多読用図書に囲まれた「グローバル・スクエア」



1階新着図書展示コーナー



「こざん刺し」や「ブナコ」のライトがお洒落な閲覧室



グループ学習できる「アクティブ・ラーニング・エリア」



明るく開放的な「オープラウンジ」



太宰治自筆ノートなど貴重な資料も保管



手動式集密書架の収蔵スペース



PCを使いながら静かに集中して学修できる2階閲覧室

医学部附属病院



医学部附属病院

University Hospital

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は70年余にわたり、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。

診療科等

- | | | | | | |
|--------|----------|--------|-------------|-------------|-------------|
| ●消化器内科 | ●糖尿病代謝内科 | ●心血管外科 | ●眼科 | ●脳神経外科 | ●総合診療部 |
| ●血液内科 | ●感染症科 | ●消化器外科 | ●耳鼻咽喉科頭頸部外科 | ●形成外科 | ●高度救命救急センター |
| ●免疫内科 | ●脳神経内科 | ●乳癌外科 | ●放射線治療科 | ●小児外科 | |
| ●循環器内科 | ●腫瘍内科 | ●甲状腺外科 | ●放射線診断科 | ●歯科口腔外科 | |
| ●呼吸器内科 | ●神経科精神科 | ●整形外科 | ●産科婦人科 | ●病理診断科 | |
| ●腎臓内科 | ●小児科 | ●皮膚科 | ●麻酔科 | ●救急科 | |
| ●内分泌内科 | ●呼吸器外科 | ●泌尿器科 | ●集中治療科 | ●リハビリテーション科 | |



新病棟とヘリポート



ハイブリッド手術システム



遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチ」

高度救命救急センター

医学部附属病院には、DMAT派遣機能を持ち、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。



災害派遣医療チーム (DMAT) [訓練の様様]



センター地下1階 特殊処置室 [訓練の様様]

病床数

2025 (令和7) 年5月1日現在

診療科等	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科／血液内科／免疫内科	44		
循環器内科／腎臓内科	38 (48)		
呼吸器内科／感染症科	30		
内分泌内科／糖尿病代謝内科	23		
脳神経内科	15		
腫瘍内科	8		
神経科精神科		35	
小児科	33		
呼吸器外科／心臓血管外科	22		
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	45		
整形外科	50		
皮膚科	15		
泌尿器科	33		
眼科	26		
耳鼻咽喉科頭頸部外科	30		
放射線治療科	10		
放射線診断科			
産科婦人科	32		
麻酔科	2		
脳神経外科	24		
形成外科	14		
小児外科	3		
歯科口腔外科	13		
救急科	4		
リハビリテーション科	2		
感染症病床			4
RI	5		
ICU (集中治療科)	16		
ICTU	3		
NICU	6		
GCU	10		
SCU	6		
高度救命救急センター	20 (10)		
共通病床	15		
合 計	597	35	4

※ 1 () 内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床 10 床を含む病床数。
 ※ 2 () 内の病床数は、後方病床 10 床を除く病床数。

患者数

2024 (令和6) 年度

診療科等	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／免疫内科	13,841	37.9	36,075	148.5
循環器内科／腎臓内科	16,213	44.4	19,447	80.0
呼吸器内科／感染症科	10,368	28.4	12,139	50.0
内分泌内科／糖尿病代謝内科	6,871	18.8	23,595	97.1
脳神経内科	4,846	13.3	6,532	26.9
腫瘍内科	2,968	8.1	4,181	17.2
神経科精神科	7,789	21.3	20,294	83.5
小児科	13,346	36.6	8,496	35.0
呼吸器外科／心臓血管外科	7,594	20.8	4,958	20.4
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	15,747	43.1	18,021	74.2
整形外科	18,183	49.8	27,346	112.5
皮膚科	4,891	13.4	19,144	78.8
泌尿器科	11,091	30.4	16,846	69.3
眼科	8,324	22.8	17,723	72.9
耳鼻咽喉科頭頸部外科	9,616	26.3	16,037	66.0
放射線治療科	3,138	8.6	13,526	55.7
放射線診断科	32	0.1	33,833	139.2
産科婦人科	10,656	29.2	16,814	69.2
麻酔科	110	0.3	14,146	58.2
脳神経外科	8,157	22.3	5,346	22.0
形成外科	4,858	13.3	4,642	19.1
小児外科	843	2.3	2,339	9.6
歯科口腔外科	4,522	12.4	12,184	50.1
救急科	1,333	3.7	1,660	6.8
リハビリテーション科	481	1.3	49,656	204.3
総合診療部	-	-	583	2.4
総合患者支援センター	-	-	12	0.0
合 計	185,818	508.9	405,575	1,669.0

(注) 外来診療実日数 243 日
 放射線診断科の入院患者は、放射線治療科の病床を利用。

区 分	入院患者数	外来患者数
2020 (令和2) 年度	177,896	374,421
2021 (令和3) 年度	182,238	393,905
2022 (令和4) 年度	171,250	396,406
2023 (令和5) 年度	173,332	393,266
2024 (令和6) 年度	185,818	405,575

附置研究所



被ばく医療総合研究所

Institute of Radiation Emergency Medicine

設置時期：2010(平成22)年10月

被ばく医療総合研究所は、放射線被ばく医療に関する基礎研究を推進しつつ、各学部、研究科等における教育の支援を行うほか、全国に存在する原子力関連施設や被ばく医療施設における健康管理や緊急被ばく事故に対応できる専門的人材の育成など、これまでにない取り組みを行うことを目的に設置されました。

本研究所は、計測技術・物理線量評価部門、リスク解析・生物線量評価部門、放射化学・生態影響評価部門、国際連携・共同研究推進部門、被ばく医療学部門の5部門から構成され、外部・内部被ばく線量評価、染色体解析・生物学的影響に関する研究、放射性核種の環境動態、放射化学分析法の開発、被ばく医療などの基礎研究を行っています。

平成27年8月には、弘前大学は原子力規制委員会から高度被ばく医療支援センターと原子力災害医療・総合支援センターの二つの支援センターに指定され、平時及び緊急時における高度被ばく医療に関する業務の一翼を担っています。

また、平成31年度から筑波大学放射線・アイソトープ地球システム研究センター等とともに文部科学省より共同利用・共同研究拠点(拠点名：放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点)に認定されました。さらに、海外の大学や研究機関と部局間協定を締結し国際共同研究も進めています。特に、インドネシア、タイ、カメルーン、ケニアなどアジア・アフリカの大学や研究機関と連携を強化し、本研究所の国際的プレゼンスを高めています。

当研究所は、弘前大学の特徴的な取組みの一つである「被ばく医療と放射線防護に資する基礎研究」を推進する専門家集団として、国内外機関と緊密な連携による研究活動を推進するとともに、放射性物質における環境動態研究および放射線防護・被ばく影響研究の国際的な中核拠点形成を目指してまいります。

【研究部門】

- 計測技術・物理線量評価部門
- リスク解析・生物線量評価部門
- 放射化学・生態影響評価部門
- 国際連携・共同研究推進部門
- 被ばく医療学部門



地域戦略研究所

Institute of Regional Innovation

設置時期：2018(平成30)年4月

地域戦略研究所は、北日本新エネルギー研究所及び食料科学研究所の統合再編により、新エネルギーの研究開発及び食料科学に関わる専門的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究の進展と社会及び産業の発展に資することを目的に、平成30年4月に設置されました。3つの部門からなり、新エネルギー研究部門では、青森県内に豊富に存在する再生可能エネルギーを中心としたエネルギー資源の開発及び利活用と地域の特性を生かしたエネルギーシステムに関する研究・教育・実践を行います。食料科学研究部門では、食品の機能性研究を通じて青森県の農林水産物の高付加価値化を図り、「北日本におけるグローバル食の成長戦略」の核となる拠点形成をめざします。戦略企画部門では、大学と地域との連携を強化し、社会実装や地域発展につながる研究を通じ、地域の課題解決をめざします。新たな研究所は、エネルギーと食料を軸とした地域支援をビジョンとして活動し、研究者と地域の方々と結び付けるハブとしての機能も兼ね備え、大学として教育研究を通じて人的資源の発展にも貢献していきます。

【研究部門】

- 新エネルギー研究部門
- 食料科学研究部門(青森市柳川)
- 戦略企画部門

グローバル Well-being 総合研究所

Institute of Global Well-being Science

設置時期：2024(令和6)年7月

グローバル Well-being 総合研究所は、社会・居住環境も含めた超多項目健康・医療ビッグデータ(統合リアルワールドデータ)を基に最先端の予防医学・健康社会医学研究を総合知により展開・先鋭化し、世界レベルの研究拠点を構築するとともに、研究成果の社会実装を産学連携で牽引することにより、人と社会の Well-being 実現に寄与するイノベーションの創出に資することを目的として設置されました。

本研究所は、グローバルヘルス・予防医学部門、ライフサイエンス・テクノロジー部門、Well-being ソーシャルサイエンス部門の3部門から構成され、全ての住民が人と人とのつながりを持ち、子どもを含めた全世代が健康を基軸として高い幸福度で満たされ、生きがいを持って働き続けることができる「Societal Well-being」を実現し、さらには、本学を拠点として、国内外へと波及させていくことで「Planetary Well-being」の実現に貢献していきます。

【研究部門】

- グローバルヘルス・予防医学部門
- ライフサイエンス・テクノロジー部門
- Well-being ソーシャルサイエンス部門

学内共同教育研究施設



保健管理センター

Health Administration Center

設置時期：1967 (昭和42) 年6月

保健管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送れるように援助やサービス（健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなど）を提供し、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。フィジカルヘルスサービスとして、健康診断で所見があった方、あるいは健康に問題をお持ちの方への説明、相談に応じています。また、メンタルヘルスサービスとしては、学生・職員生活を送る上でのさまざまな悩みや心配事の相談に応じます。



アイソトープ総合実験室

Radioisotope Laboratory

設置時期：1999 (平成11) 年10月

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素 (RI) を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。非密封 RI を使用した40人規模の学生実習や、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、理工学・農学などの幅広い分野の実験で全学的に利用されており、令和6年度からは実験室の有効活用のため、学外の方の利用も受け付けています。また、法令で義務づけられた教育訓練を実施し、放射性同位元素の使用に関し、適切な安全管理と利用の促進を旨に最善の教育ならびに研究の場の提供に努めています。



出版会

Hirosaki University Press

設置時期：2004 (平成16) 年6月

出版会は、学術に関連する書籍の出版を通じて、我が国の高等教育・学術・科学の発展、および北東北を中心とする地域社会・文化の振興に寄与することを目的としています。本学教職員の教育研究の成果、地域社会の様々な課題に対する取り組み、地域の魅力的な文化の再発見など、多様なテーマに関する魅力的な書籍を刊行しています。



資料館

Hirosaki University Museum

設置時期：2012 (平成24) 年10月

資料館は、本学の歴史を伝える貴重な資料、地域社会・文化・自然に関連する研究・教育の成果を展示・紹介し、本学の教育に資するとともに、北東北を中心とする地域との連携に寄与することを目的としています。弘大ねぶた絵の変遷、旧制弘前高校時代の太宰治の自筆ノート、各部局が所蔵する貴重資料の常設展示、教職員および学内の研究・教育プロジェクトによる取り組みの成果を紹介する企画展示の運営・拡充に努めています。

本部

環境安全推進本部

Environment and Safety Promotion Headquarters

設置時期：2023 (令和5) 年10月

環境安全推進本部は、本学の安全衛生管理・運営体制を抜本的に見直し専門的な知見を有する職員による法令遵守体制の強化を図ることを目的としています。本部には環境安全推進センターが置かれ、専門的知見を有する教員、技術職員により、安全衛生に関する具体的な施策の企画、立案、実施や教職員・学生に対する環境安全教育に関する専門的業務を実施しています。

国際連携本部

Department of International Education & Collaboration

設置時期：2013 (平成25) 年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。平成28年10月、国際教育センターを統合し、本学学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、地域の国際交流支援などを行っています。

情報連携統括本部

Information Management Headquarters

設置時期：2019 (平成31) 年4月

情報連携統括本部は、全学情報総括責任者を本部長とし、弘前大学における情報戦略の企画・立案並びに情報システムの管理運営を行うとともに、情報セキュリティ対策に係る業務を推進することを目的として平成31年4月に設置されました。本部には情報戦略の企画立案および推進に関する業務を行う情報戦略企画室と、情報基盤センターが置かれています。情報基盤センターには、情報基盤システムや学内 LAN システムの管理運用を担う情報基盤運用部門、全学的な情報セキュリティインシデント対応や対策の運用管理を担う情報管理対策部門が置かれ、本学構成員の安全安心で快適なコンピュータ・ネットワーク利用を支えます。

本部

地域創生本部

Regional Revitalization Division

設置時期：2018 (平成30) 年10月

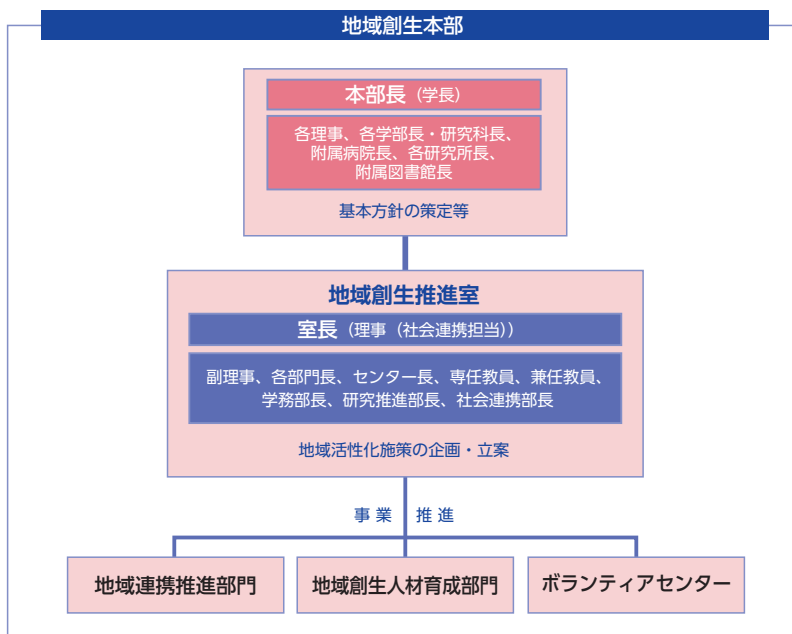
地域創生本部は、地域活性化の中核的拠点としての機能の充実・強化に向けて、地域の特性を活かした施策を大学が戦略的かつ一体的に推進するため、平成30年10月に設置しました。令和2年4月に組織再編を行い、現在の体制となりました。

組織のトップを学長が務め、全ての理事、学部長・研究科長等を構成員とする本部は、地域活性化に関する施策の基本方針を策定し、地域活性化の観点で学内組織を横断的に総括する役割を担うとともに、本部内に設置した「地域創生推進室」においては、基本方針を踏まえた本部の運営、地域活性化施策の企画・立案、総合調整や総合窓口機能の強化に取り組んでいます。

事業を推進する組織として「地域連携推進部門」「地域創生人材育成部門」「ボランティアセンター」があり、県内自治体や金融機関等との包括連携協定の締結、地域課題の解決に向けた連携調査研究事業、地域人材の育成や学生の地元定着に資する取組、ボランティアに関する事業の推進等を実施しています。

こうした活動は青森県内において積極的に展開されており、八戸市に設置した「八戸サテライト」、青森市に設置した「青森サテライト」では公開講座や共同研究の相談など地域連携を推進しています。また、むつ市・青森中央学院大学と共同で設置した「むつサテライトキャンパス」や深浦町と共同で設置した「深浦エコサテライトキャンパス」においては滞在型学習や公開講座等の事業を推進しています。

地域創生本部は、設置目的の達成に向けて、本学のあらゆる活動に関わりを持ちつつ、教育・研究活動を通じた地域貢献を果たしていきます。



Well-being 社会実装本部

Office for the Promotion of Well-being Society

設置時期：2024 (令和6) 年7月

Well-being 社会実装本部は、Well-being 社会に寄与する研究成果の社会実装やスタートアップ創出を加速させることを目的として、令和6年7月に設置しました。

本部内には、「イノベーション推進室」、「スタートアップ創出推進室」、「知的財産戦略マネジメント室」が置かれています。Well-being に寄与するイノベーションの創出推進、企業・関係機関との社会実装に係る調整、研究成果の社会への波及促進、研究成果を基にした大学発スタートアップなどの起業推進・支援、知的財産管理などの役割を担い、各学部・研究科等の研究活動を支援しています。

次世代研究者育成推進本部

Development and Promotion Headquarters for Next-Generation Researchers

設置時期：2025 (令和7) 年3月

次世代研究者育成推進本部は、学生の教育研究活動の改善・充実に必要な施策を総合的、全学的に推進し、社会全体の成長・発展をけん引する人材を育成することを目的として、令和7年3月に設置しました。

本部内には、「環境整備部門」、「博士人材育成部門」を置き、大学院の教育の質の向上、学生の修学・研究支援に係る施策の企画立案・調整及び施策や、大学院の博士課程に在籍する学生を対象とする次世代研究者挑戦的研究プログラムに係る企画立案及び管理運営などを行っています。

機構

教育推進機構

Institute for the Promotion of Higher Education

設置時期：2012 (平成24) 年7月

弘前大学の教育理念と目標に沿い、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の充実を図るとともに、教育の質保証及び改善・充実、学生の確保、キャリア形成に係る調査・研究、企画立案及び実施を総合的、全学的に行うことを目的として設置されました。



教養教育開発実践センター

設置時期：2015 (平成27) 年10月

教養教育開発実践センターは、本学における全学担当制による教養教育に関する企画立案、調整及び教養教育の実施並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うとともに、教養教育に関する自己点検・評価について担当しています。



アドミッションセンター

設置時期：2015 (平成27) 年10月

アドミッションセンターは、本学の入学者受入方針に応じた優れた入学者を確保するための入学者選抜方法等に関する調査研究・企画立案と、入試広報に関する企画立案・実施を目的としています。「調査研究部門」と「入試広報部門」の2つの部門が置かれ、業務を行っています。



キャリアセンター

設置時期：2016 (平成28) 年4月

キャリアセンターは、キャリア教育及び就職支援を通して本学学生の進路決定や生涯を通じた持続的な就業力の育成をより円滑に推進することを目的としています。インターンシップ、就職ガイダンス、業界研究会、各種企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集等、さまざまなキャリア支援を行っています。



数理・データサイエンス教育センター

設置時期：2022 (令和4) 年4月

数理・データサイエンス教育センターは、本学における数理・データサイエンス・AI教育の普及と関連科目の整備を行うとともに、授業の実施、授業の内容・方法の改善、質保証等について担当しています。



教職支援センター

設置時期：2024 (令和6) 年4月

教職支援センターは、本学における教職課程の全学的な実施に関する立案、調整及び教職に係る支援の実施並びに教育内容・授業方法の改善を行い、教職課程の円滑な運営及び質保証等について担当しています。



学生特別支援室

設置時期：2016 (平成28) 年4月

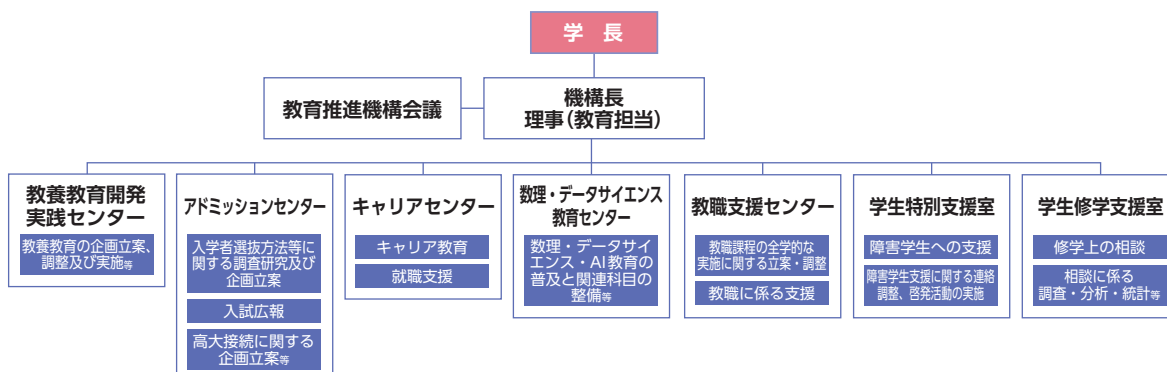
学生特別支援室は、本学における障害のある学生への全学的な支援を推進し、障害のある学生の円滑な学修等に寄与することを目的としています。障害等による修学・生活上の困難の軽減・解消等の相談に、コーディネーター、カウンセラー等が対応しています。



学生修学支援室

設置時期：2021 (令和3) 年4月

学生修学支援室は、本学における修学上の課題を抱える学生への全学的な支援を行うことで、学生の円滑な学修等に寄与することを目的としています。修学上の課題を抱える学生に対し、コーディネーターが対応しています。



研究・イノベーション推進機構

Institute for the Promotion of Research and Innovation

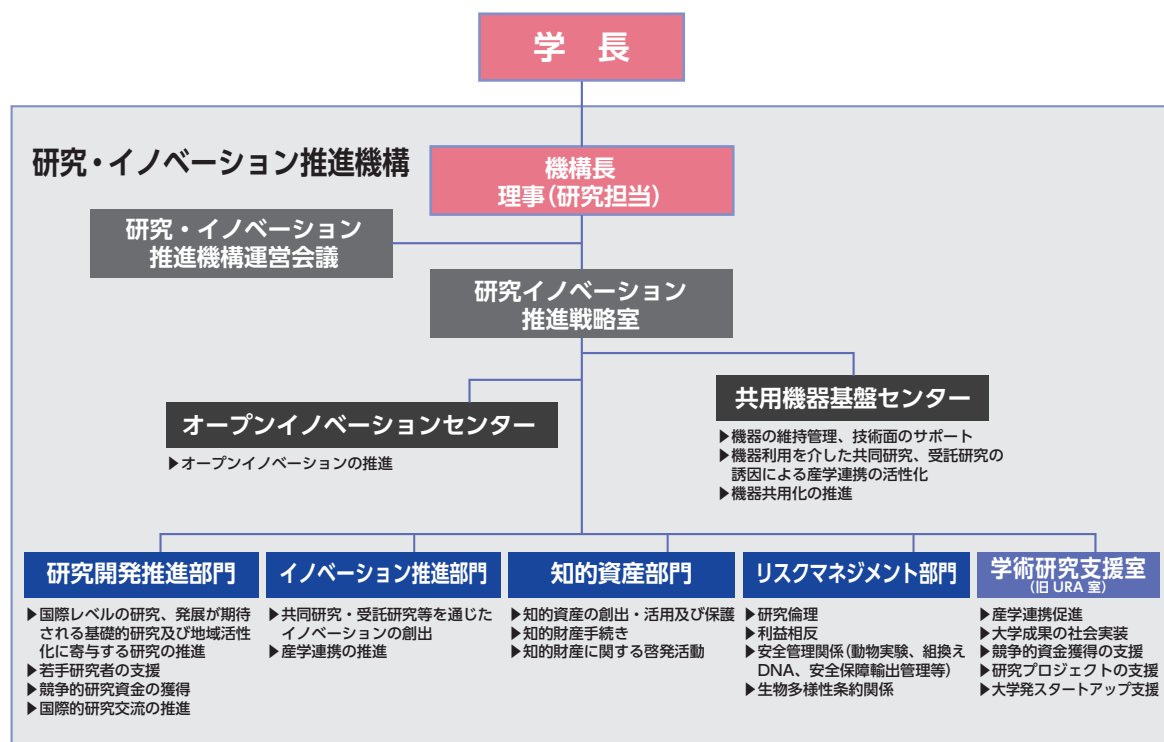
設置時期：2013（平成25）年12月

弘前大学では、基礎的研究及び地域活性化に寄与する研究推進を図ることを研究目標とし、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを重点分野として位置付け、関連する諸課題を中心とした研究を推進しております。

弘前大学研究・イノベーション推進機構は、本学の理念に基づき、研究、イノベーション及び産学連携を強力に推進するため、平成27年に研究開発推進部門、イノベーション推進部門及び知的資産部門の3部門を設置し、平成30年度には、近年の大学における研究及び産学連携活動におけるリスクマネジメントが重要視されていることを踏まえ、新たにリスクマネジメント部門を設置しました。さらに、平成31年4月には、学内共同教育研究施設の機器分析センターを機能強化して共用機器基盤センターを設置したほか、URAの組織としての位置づけを明確化するためURA室を設置しました。センター及び各部門には、それぞれセンター長及び部門長を置き、学内の教員を充て、教職協働による機構運営を行っています。令和4年12月には、研究成果と企業とのマッチングを図り新産業を創出する体制を強化する為、URA室を学術研究支援室に改変し、さらにオープンイノベーションセンターを設置しました。

また、本機構の運営に関する事項の審議並びに本学の研究活動及びイノベーション創出のための方針・戦略等の企画、立案を行う審議機関として「研究・イノベーション推進機構運営会議」を設置し、機構の重要事項等について審議することとしています。

これまでの産学連携活動に加え、研究活動の目標及び4つの重点分野の研究推進とともに、戦略的研究開発、イノベーションの推進、戦略的知的資産の活用及びリスクマネジメントの管理を行い、本学が目標として掲げる「イノベーションの創出と人材育成」を通じて、地域貢献のさらなる推進を進め、研究活動の活性化に取り組みます。



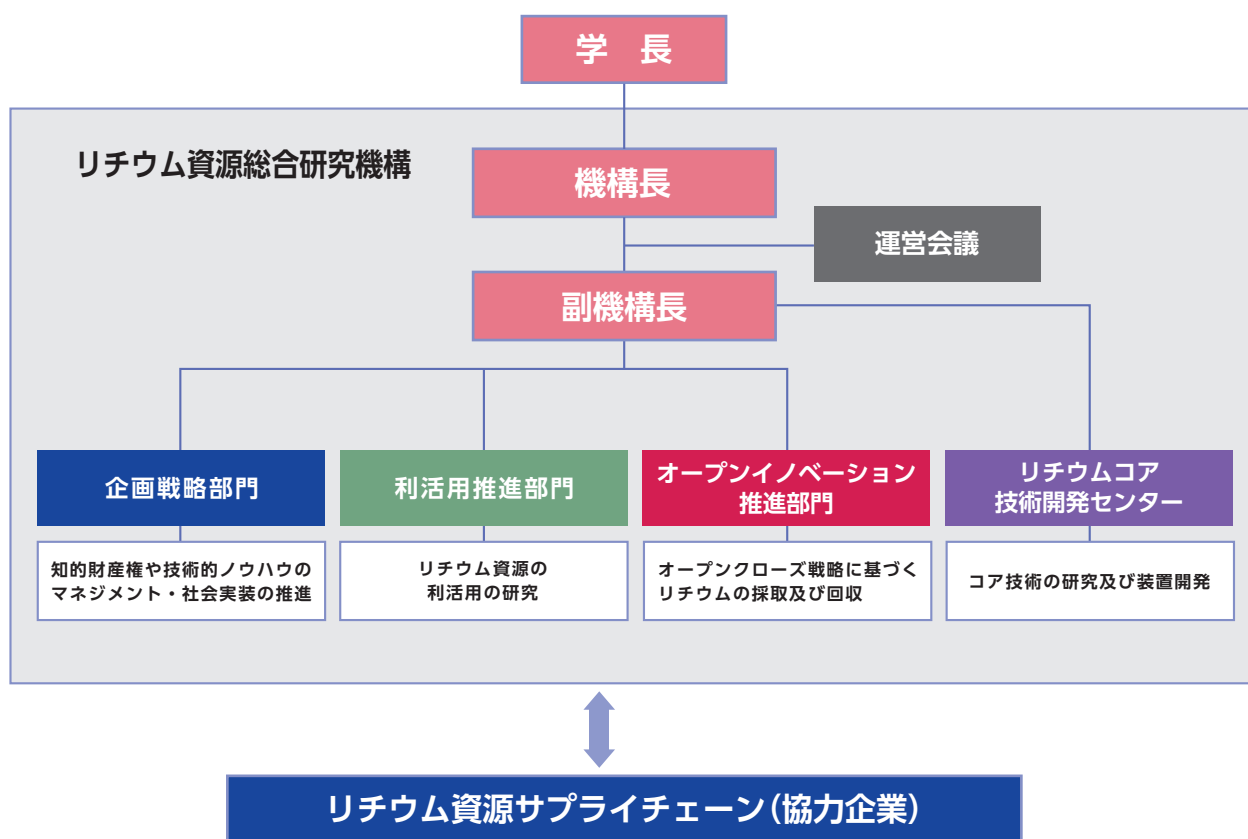
リチウム資源総合研究機構

Lithium Resources Research Organization

設置時期：2023（令和5）年7月

リチウム資源総合研究機構は、リチウム資源の獲得・利用の技術・材料開発の研究を推進し、技術者の高度教育や産業創生を目指す研究開発連携拠点として令和5年7月に設置されました。現在は、令和6年7月の研究開発力と知的財産活用の為のマネジメント力の強化に向けた組織改革を経て、リチウムコア技術開発センター、オープンイノベーション部門、利活用推進部門、及び企画戦略部門の4部門から構成されています。理工学研究科を中心とする学内の教育・研究組織、及び国内の産学官民との連携・協力により、リチウム資源を活用した社会活動への貢献を展開します。

センター及び3つの部門では、それぞれ、本学が開発したコア技術を高度化する研究開発の促進、オープンクローズ戦略に基づきこのコア技術と学内外の技術・アイデア・資本などの資源を積極的かつ最大限に活用する社会実装の促進、リチウム資源の新たな利活用の可能性を拓く研究の促進、及び本学が保有する知的財産権や技術的ノウハウのマネジメントやコンサルティングを通し、リチウム資源サプライチェーン構築による産業の創生・発展を目指して取り組んでいきます。



被ばく医療連携推進機構

Radiation Emergency Medicine and Cooperation Promotion

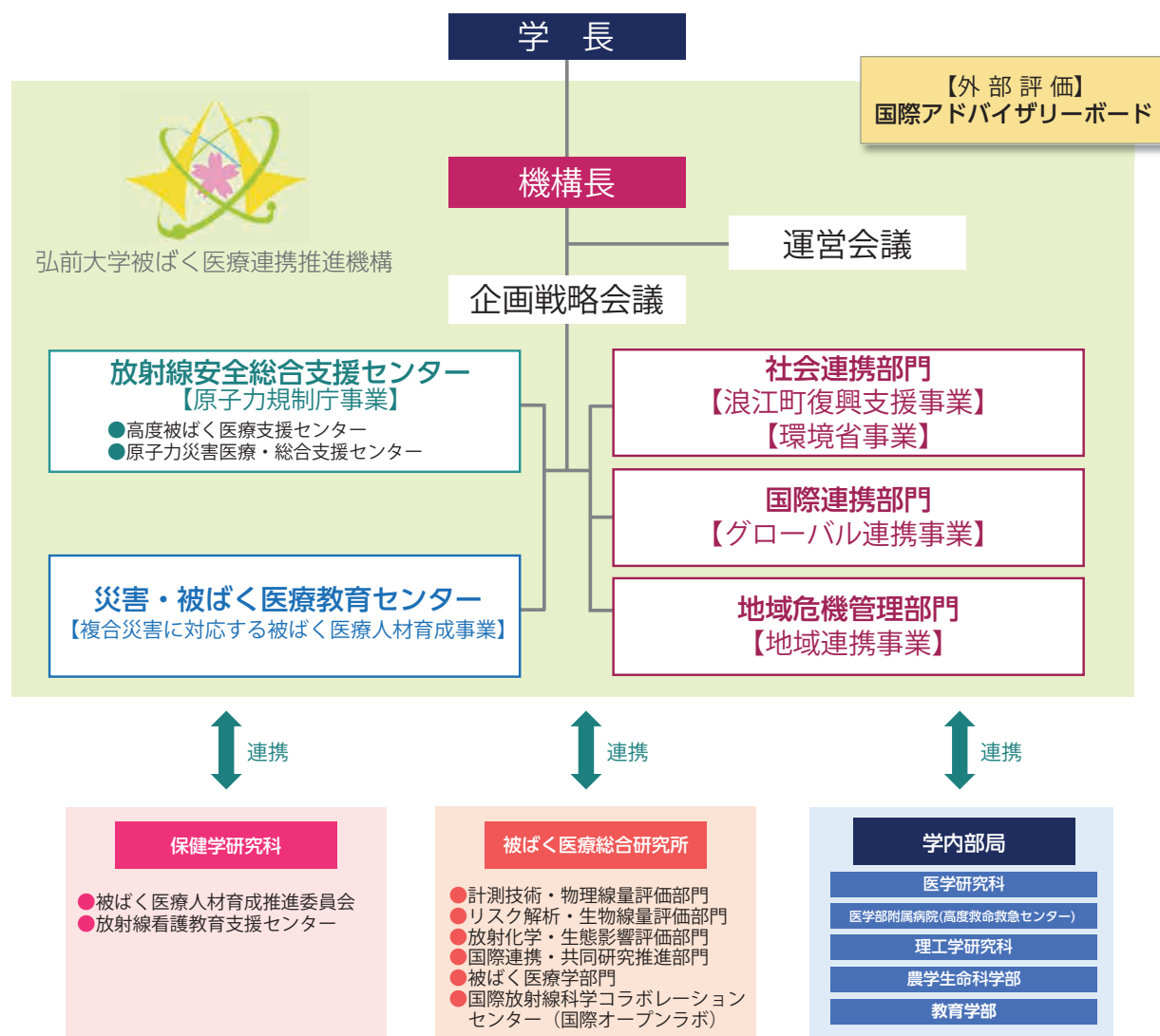
設置時期：2019 (令和元) 年10月

被ばく医療連携推進機構は、本学の被ばく医療に関する各種事業を分野・組織を超えた連携を組織的、かつ、戦略的に推進することを目的として令和元年10月に設置されました。

本機構は、放射線安全総合支援センター及び災害・被ばく医療教育センター並びに社会連携部門、国際連携部門、地域危機管理部門の2センター3部門から構成されています。さらに、被ばく医療総合研究所、医学研究科、保健学研究科、医学部附属病院、理工学研究科、農学生命科学部、教育学部との連携により、多様な活動を展開しています。

放射線安全総合支援センターは、原子力規制委員会から指定を受けた「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の活動が主たる取り組みです。また、災害・被ばく医療教育センターは、原子力災害を含めた複合災害に対応する人材育成事業活動が主な取り組みです。

3部門の活動は、令和4年度からの第4期中期目標・中期計画における自治体・企業等との連携強化による福島県浪江町等の復興支援、地域社会の課題解決への貢献及び放射線関連の教育・研究センターを活用し、世界で活躍できる多様な人材育成などが主たる取り組みです。また、関連する学術活動の情報発信を目的とした英文学術誌「Radiation Environment and Medicine」(弘前大学出版会)の刊行に取り組んでいます(2024年9月 Elsevier の文献データベース「Scopus」に採録)。



健康未来イノベーション研究機構

Research Institute of Health Innovation

設置時期：2022 (令和4) 年6月

弘前大学では、青森県の平均寿命が長年全国最下位であることから「短命県返上」を掲げて、2005年から弘前市岩木地区で「岩木健康増進プロジェクト」を展開し、その一環として大規模住民合同健診「岩木健康増進プロジェクト健診」を実施しています。

この取り組みをきっかけに、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構による大型研究支援プログラム「COI STREAM」の拠点の一つに採択され、「岩木健康増進プロジェクト健診」で蓄積されている超多項目健康ビッグデータの解析を通じ、認知症・生活習慣病などの疾患予兆法や予防法の開発、社会実装など社会課題解決に向けた研究を展開しました。(2013～2022年)

2022年には、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構による「共創の場形成支援プログラム COI-NEXT」(「COI STREAM」の後継プログラム)の拠点に採択されました。健康を基軸に、若者が地域で働きたいと思える成長産業として魅力的なヘルスケア産業を創出することによって、地域の人々を健康にしながら経済発展し、全世代の人々が生きがいをもって働き続けることができ、心身共にQOLの高い状態での健康寿命を延伸する、well-beingな地域社会モデルの実現をめざしています。

COI-NEXTでは、より質を重視した「well-being」をコンセプトとし、COIで積み上げた成果を基盤に、地域の中核大学として、地域社会への貢献はもとより全日本・全世界へ研究成果を力強く展開していきます。この弘前の地で、最先端の革新的健康モデル(社会実験)を徹底して追求し、挑戦を続けます。岩木健康増進プロジェクト健診で蓄積した超多項目ビッグデータ(3000項目)をコアとした包括的リアルワールドデータプラットフォームが持つ研究的価値、社会的価値を更に強化し、真の社会イノベーション創出へと強力につなげます。世界で唯一無二の超多項目ビッグデータと強固な社会連携基盤を有する「弘前(HIROSAKI)」を、ヘルスケア(健康・予防)領域で革新的なチャレンジを目指す多様な企業・ベンチャー企業・大学・研究機関等が集結する世界最先端の一大健康(予防医学)研究拠点・プラットフォームへ発展させていきます。

本機構では、上記ビジョンの達成に向けて、地域の社会課題を解決し、地域の持つ活力を最大化する新たな地域健康システム構築のため、健康・イノベーション研究戦略の企画・立案、地域および社会との連携構築、人材育成等を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献を目指した研究活動を推進していきます。



特定プロジェクト教育研究センター

人文社会科学部



地域未来創生センター

Innovative Regional Research Center

センター長：原 克昭 教授

設置時期：2014 (平成26) 年4月

地域未来創生センターは、地域の諸課題を将来的な視野に立って検討し、その解決策を組織的に研究することや、地域の文化資源とその有効活用を組織的に調査・研究することをおして、地域社会の発展に貢献することを目的としております。また、地域にまなざしをむけた教育プログラムを開発することにより、地域に貢献できる人材育成にも取り組んでおります。社会貢献活動として、各種イベントによる地域との交流を継続的に行っております。



北日本考古学研究センター

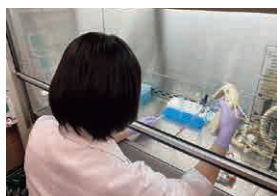
Archaeological Research Center for Northern Japan

センター長：上條 信彦 教授

設置時期：2014 (平成26) 年4月

北日本に広く分布する縄文遺跡群を中心とする埋蔵文化財の調査発掘・分析・保存等をはじめとして、この地域の考古学・文化財科学に関する教育・研究・社会貢献活動を行い、広く学界に貢献することを目的としています。過去の環境激変期を包括的に究明し、人類社会の未来を構想することや地域社会の活性化に寄与することを目指しています。展示室でのミニ博物館活動や先進的分析法を専門教育に活用することで領域横断型グローバル人材を育成し、文化財の保存処理等を通じて産学官連携による地域資源活用の活性化に取り組んでいます。

保健学研究科



生体応答科学研究センター

Research Center for Biomedical Sciences

センター長：宮崎 航 教授

設置時期：2008 (平成20) 年4月

生体応答科学研究センターの発足理念は、メンバーの横断的な連携により、領域の垣根を超えた研究の推進・向上を図ることを主眼とし、その上で地域貢献や教育の活性化に向けた研究成果を広く世界に向けて発信することです。当センターは、大学院保健学研究科の有志メンバーを中心に2008年に開設され、その後、被ばく医療総合研究所、看護学領域と総合リハビリテーション科学領域の教員も加わり、より領域横断的研究が強化され、さらにストックホルム大学、韓国原子力医学院、オタゴ大学などの研究者も加え、国際共同研究も広く行われています。現在に至るまで多くの研究業績を生み出し、研究活動を支える研究費の獲得を共同で進め、次代の弘前大学の研究活動を担う若手研究者を育成する国際会議および講演会も積極的に行っています。



健康ライフプロモーションセンター

Healthy Life Promotion Center

センター長：富澤 登志子 教授

設置時期：2023 (令和5) 年6月

人生100年時代を迎えるにあたり、次世代も含めたすべての人の健やかな生活習慣の形成、疾病予防および重症化予防、フレイルや認知症の予防、健康寿命の延伸、人々の生活の質(QOL)の向上に、保健学研究科の知見や経験をもとにした活動が貢献できると考えています。健康ライフプロモーションセンターは、地域住民に対して健康増進を中心として人々の生活を包括的に支援するとともに、メディカルスタッフ教育のデジタル化を中心に包括的に支援するために、「多職種連携人材育成支援部門」、「ビッグデータ教育研究推進部門」、「健康増進活動支援部門」からなる地域にむけた活動拠点として設立されました。他大学や医療施設などとも連携しながら、地域一帯で医療資源を共有し、質向上を目指し活動をしていきます。

理工学研究科



宇宙物理学研究センター

Cosmophysics Research Center

センター長：浅田 秀樹 教授

設置時期：2022 (令和4) 年1月

宇宙物理学および関連分野(天文学、素粒子論など)において、「マルチメッセンジャー重力波天文学」、「ブラックホールのような強重力場」および「ダークマター・ダークエネルギー」などの研究が急務となっています。宇宙物理学研究センターは、宇宙物理学分野の教員間の連携を更に高めて、上記の研究を推進させることを目指します。宇宙、そして自然科学に関する若い世代の興味を喚起する目的で、講演会等を開催することによって地域社会にも貢献します。



弘前大学ロゴマーク

【コンセプト】

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。

制定日：2006(平成18)年7月24日

役職員等

2025 (令和7) 年7月1日 現在

役員等	
学長	福田 眞作
理事(企画担当)・副学長	若林 孝一
理事(総務担当)・副学長・事務局長	藤波 豊彦
理事(教育担当)・副学長	岡崎 雅明
理事(研究担当)・副学長	曾我 亨
理事(社会連携担当)・副学長	橋本 恭男
理事(特命担当)	佐野 輝男
監事	中川 晃
監事	三上 友子
副学長	村下 公一
学長特別補佐	柏倉 幾郎
学長特別補佐	袴田 健一
学長特別補佐	本田 明弘
副理事	今井 雅
副理事	平野 潔
副理事	杉原かおり
副理事	東谷 隆
副理事	大津 哲弘
副理事	佐々木律成
副理事	小野 厚志

学長選考・監察会議	
経営協議会委員	永澤 弘夫
経営協議会委員	今井 高志
経営協議会委員	岡井 眞
経営協議会委員	櫛引 利貞
経営協議会委員	九戸 眞樹
教育研究評議会評議員	若林 孝一
教育研究評議会評議員	藤波 豊彦
教育研究評議会評議員	岡崎 雅明
教育研究評議会評議員	曾我 亨
教育研究評議会評議員	石橋 恭之

経営協議会委員	
学長	福田 眞作
理事(企画担当)	若林 孝一
理事(総務担当)	藤波 豊彦
理事(教育担当)	岡崎 雅明
理事(研究担当)	曾我 亨
理事(社会連携担当)	橋本 恭男
医学部附属病院長(学長特別補佐)	袴田 健一
農学生命科学部教授	牛田 千里
(株)東奥日報社弘前支社長	石鉢 康範
(株)日産サティオ弘前代表取締役社長・弘前商工会議所会頭	今井 高志
岡井公認会計士事務所所長	岡井 眞
カネショウ(株)代表取締役社長	櫛引 利貞
元弘前市教育委員会委員長	九戸 眞樹
青森県副知事	小谷 知也
(株)青森みちのく銀行代表取締役専務執行役員・(株)プロクレアホールディングス取締役	須藤 慎治
弘前商工会議所名誉会頭	永澤 弘夫
中林・実務法律事務所弁護士	中林 弓子

教育研究評議会評議員	
学長	福田 眞作
理事(企画担当)	若林 孝一
理事(総務担当)	藤波 豊彦
理事(教育担当)	岡崎 雅明
理事(研究担当)	曾我 亨
理事(社会連携担当)	橋本 恭男
理事(特命担当)	佐野 輝男
副学長	村下 公一
人文社会科学部部長	飯島 裕胤
教育学部部長	高瀬 雅弘
農学生命科学部部長	東 信行
大学院医学研究科長	石橋 恭之
大学院保健学研究科長	敦賀 英知
大学院理工学研究科長	金本 俊幾
医学部附属病院長	袴田 健一
大学院地域社会研究科長	森 樹男
大学院地域共創科学研究科長	小岩 直人
被ばく医療総合研究所長	床次 眞司
地域戦略研究所長	東 信行
グローバルWell-being総合研究所	石橋 恭之
附属図書館長	羽渕 一代
農学生命科学部教授	牛田 千里
保健学研究科教授	小河 妙子
国際連携本部長	杉原かおり
保健学研究科教授	野戸 結花
教育学研究科教授	吉田 美穂

人文社会科学部	
学部長	飯島 裕胤

教育学部	
学部長	高瀬 雅弘
附属学校園統括校長	中野 博之
附属幼稚園長	加賀 恵子
附属小学校長	片山 好弘
附属中学校長	傳法 公彦
附属特別支援学校長	大崎 光幸
附属教育実践総合センター長	小瑤 史朗
附属教員養成学研究開発センター長	福島 裕敏
附属次世代ウェルビーイング研究センター長	今田 匡彦

大学院医学研究科	
研究科長	石橋 恭之
附属バイオメディカルリサーチセンター長	伊東 健
附属動物実験施設長	上野 伸哉
附属子どものこころの発達研究センター長	中村 和彦
附属健康未来イノベーションセンター長	三上 達也
附属地域基盤型医療人材育成センター長	石橋 恭之
附属健康・医療データサイエンス研究センター長	玉田 嘉紀

大学院保健学研究科	
研究科長	敦賀 英知

医学部附属病院	
病院長	袴田 健一

大学院理工学研究科	
研究科長	金本 俊幾
附属地震火山観測所長	前田 拓人
附属医用システム創造フロンティアセンター長	佐川 貢一

農学生命科学部	
学部長	東 信行
附属生物共生教育研究センター長	張 樹槐
附属遺伝子実験施設長	坂元 君年
附属白神自然環境研究センター長	中村 剛之

大学院地域社会研究科	
研究科長	森 樹男

大学院地域共創科学研究科	
研究科長	小岩 直人

附置研究所	
被ばく医療総合研究所長	床次 眞司
地域戦略研究所長	東 信行
グローバルWell-being総合研究所長	石橋 恭之

学内共同教育研究施設	
保健管理センター所長	佐藤 研
アイトープ総合実験室長	床次 眞司
出版会編集長	柏木 明子
資料館長	山田 厳子

附属図書館・医学部分館	
附属図書館長	羽渕 一代
医学部分館長	今泉 忠淳

本部	
環境安全推進本部長	藤波 豊彦
国際連携本部長	杉原かおり
地域創生本部長	福田 眞作
情報連携統括本部長	若林 孝一
Well-being社会実装本部長	村下 公一
次世代研究者育成推進本部長	岡崎 雅明

機構	
教育推進機構長	岡崎 雅明
研究・イノベーション推進機構長	曾我 亨
リチウム資源総合研究機構長	金本 俊幾
被ばく医療連携推進機構長	柏倉 幾郎
健康未来イノベーション研究機構長	村下 公一

評価室	
室長	若林 孝一

法人内部監査室	
室長	加藤 恵吉

男女共同参画推進室	
室長	藤崎 浩幸

教職員数

2025 (令和7) 年5月1日 現在

	学 長		理事・副学長		監 事		学長特別補佐		副理事		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長・理事・監事等	1		7(1)		1	1(1)	3(2)		6(4)	1	18(7)	2(1)	20(8)

() は非常勤で内数 ※学長特別補佐、副理事については併任の者を含む

区 分	教 授		准教授		講師		助教		助手		附属学校教員		計		事務職員 技術職員等		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
現 員	175	26	162	36	62	14	170	74	27	19	39	51	635	220	385	829	1,020	1,049	2,069
事務局													0	0	106	57	106	57	163
人文社会科学部	15	4	23	3	2		9	6					49	13	5	5	54	18	72
教育学部	27	5	24	8	4	1	11	5			39	51	105	70	6	8	111	78	189
大学院医学研究科	38	2	29	3	16	1	47	13	13	10			143	29	17	7	160	36	196
大学院保健学研究科	16	12	10	7	6	3	14	17	3	4			49	43	7	4	56	47	103
医学部附属病院			9	1	28	8	46	21	10	4			93	34	204	717	297	751	1,048
大学院理工学研究科	42	1	31	5	3		18	4	1				95	10	13	9	108	19	127
農学生命科学部	26	2	30	2			14	5					70	9	13	8	83	17	100
大学院地域社会研究科	3		1										4	0			4	0	4
被ばく医療総合研究所	4		1	1			2						7	1	2	1	9	2	11
地域戦略研究所													0	0	1	2	1	2	3
保健管理センター	1			1		1							1	2		2	1	4	5
アイソトープ 総合実験室													0	0	1	1	1	1	2
附属図書館													0	0	6	5	6	5	11
国際連携本部			1	3				1					1	4	3	3	4	7	11
地域創生本部			1										1	0			1	0	1
教育推進機構			1	2	1		3	1					5	3			5	3	8
研究・イノベーション 推進機構					2		2						4	0			4	0	4
リチウム資源 総合研究機構	1		1				2						4	0			4	0	4
被ばく医療 連携推進機構	1						1						2	0	1		3	0	3
健康未来イノベーション 研究機構	1						1			1			2	1			2	1	3
男女共同参画推進室								1					0	1			0	1	1

※事務局には法人内部監査室の事務職員を含む。
※人文社会科学部には人文・地域研究科の事務職員を含む。

役職員等／教職員数

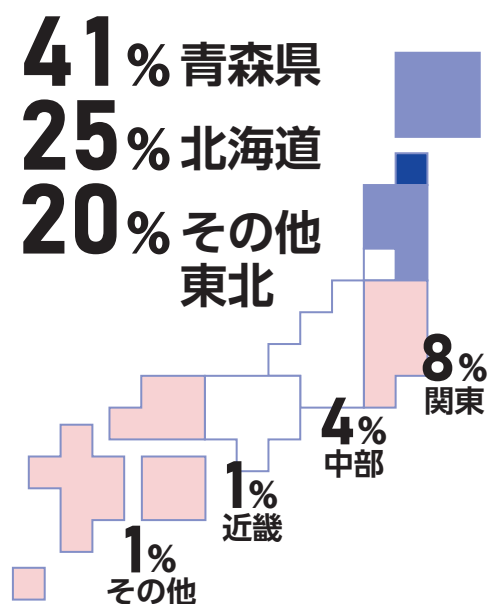
入学志願者数

	学 部	学科・課程	入学 定員	入学志願者				入学者数		
				男	女	計	倍率	男	女	計
学 部	人文社会科学部		265	441	477	918	3.46	120	181	301
	教育学部		160	200	299	499	3.12	62	108	170
	医学部	医学科	112	348	361	709	6.33	49	63	112
		保健学科	200	144	337	481	2.41	61	149	210
		心理支援科学学科	10	3	27	30	3.00	1	9	10
		小計	322	495	725	1,220	3.79	111	221	332
	理工学部		360	750	192	942	2.62	297	85	382
	農学生命科学部		215	399	287	686	3.19	145	94	239
	計		1,322	2,285	1,980	4,265	3.23	735	689	1,424
大学院	人文社会科学研究科	修士課程	16	13	10	23	1.44	9	7	16
	教育学研究科	専門職学位課程	18	13	10	23	1.28	11	9	20
	医学研究科	博士課程	60	29	18	47	0.78	29	18	47
	保健学研究科	修士課程	6	3	5	8	1.33	2	5	7
		博士前期課程	30	27	14	41	1.37	24	11	35
		博士後期課程	12	10	3	13	1.08	8	3	11
	理工学研究科	博士前期課程	120	143	23	166	1.38	132	21	153
		博士後期課程	12	6	3	9	0.75	6	3	9
	農学生命科学研究科	修士課程	50	37	17	54	1.08	31	16	47
	地域社会研究科	博士後期課程	6	7	3	10	1.67	6	1	7
	地域共創科学研究科	修士課程	30	22	15	37	1.23	17	11	28
	計		360	310	121	431	1.20	275	105	380
2 年次編入学	医学部	医学科	20	115	55	170	8.50	16	4	20
3 年次編入学 ※は、定員外の募集人員を表す	医学部	保健学科	30	2	8	10	0.33	1	0	1
	理工学部		10	18	2	20	2.00	6	0	6
	農学生命科学部		* 若干名	3	11	14		1	2	3

入学者の出身地

区 分	入学者数	出身地							私費 外国人 留学生
		北海道	青森県	その他 東北	関東	中部	近畿	その他	
人文社会科学部	301	84	148	53	9	3	1	3	0
教育学部	170	15	92	48	6	6	1	2	0
医学部	医学科	112	12	33	19	27	16	5	0
	保健学科	210	51	78	64	9	4	2	0
	心理支援科学学科	10	5	2	2	1	0	0	0
	小計	332	68	113	85	37	20	7	0
理工学部	382	123	145	66	26	13	6	3	0
農学生命科学部	239	68	90	29	26	14	4	8	1
計	1,424	358	588	281	104	56	19	18	1

※「その他」には、私費外国人留学生1名を含む。



学部学生数

2025 (令和7) 年5月1日 現在

学部	学科・課程	入学 定員	第2 年次 編入	第3 年次 編入	収容 定員	現 員																				
						1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次			5 年 次			6 年 次			総計		
						男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文社会科学部	文化創生課程	110			440	42	85	127	44	74	118	39	79	118	44	83	127				169	321	490			
	社会経営課程	155			620	79	97	176	85	79	164	86	78	164	99	89	188				349	343	692			
	計	265			1,060	121	182	303	129	153	282	125	157	282	143	172	315				518	664	1,182			
人文学部	経済経営課程							-			-			-	1	0	1				1	0	1			
	計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1				1	0	1			
教育学部	学校教育教員養成課程	140			560	62	86	148	58	91	149	62	84	146	75	92	167				257	353	610			
	養護教諭養成課程	20			80	0	22	22	0	17	17	0	22	22	0	24	24				0	85	85			
	計	160			640	62	108	170	58	108	166	62	106	168	75	116	191				257	438	695			
医学部	医学科	112	20		772	51	66	117	77	64	141	81	61	142	64	59	123	92	51	143	65	49	114	430	350	780
	保健学科	200		30	860	61	149	210	67	145	212	68	137	205	71	151	222				267	582	849			
	心理支援科学学科	10			40	1	9	10	1	10	11	1	9	10	2	10	12				5	38	43			
	計	322	20	30	1,672	113	224	337	145	219	364	150	207	357	137	220	357	92	51	143	65	49	114	702	970	1,672
理工学部	数物科学科	78		2	316	68	14	82	68	11	79	68	8	76	75	7	82				279	40	319			
	物質創成化学科	52		1	210	37	15	52	37	15	52	35	17	52	50	13	63				159	60	219			
	地球環境防災学科	65		2	264	40	32	72	49	18	67	47	16	63	59	12	71				195	78	273			
	電子情報工学科	55		2	224	52	6	58	54	4	58	53	6	59	60	5	65				219	21	240			
	機械科学科	80		2	324	77	12	89	72	8	80	76	5	81	93	4	97				318	29	347			
	自然エネルギー学科	30		1	122	24	6	30	25	5	30	26	2	28	30	4	34				105	17	122			
	計	360		10	1,460	298	85	383	305	61	366	305	54	359	367	45	412				1,275	245	1,520			
農学生命科学部	生物学科	40			160	30	15	45	34	10	44	23	15	38	35	8	43				122	48	170			
	分子生命科学科	40			160	27	17	44	25	18	43	24	17	41	24	24	48				100	76	176			
	食料資源学科	55			220	26	34	60	29	29	58	21	36	57	42	20	62				118	119	237			
	国際園芸農学科	50			200	33	24	57	34	19	53	31	23	54	37	25	62				135	91	226			
	地域環境工学科	30			120	29	4	33	26	9	35	23	6	29	30	7	37				108	26	134			
	計	215			860	145	94	239	148	85	233	122	97	219	168	84	252				583	360	943			
合 計		1,322	20	40	5,692	739	693	1,432	785	626	1,411	764	621	1,385	891	637	1,528	92	51	143	65	49	114	3,336	2,677	6,013

入学志願者数／学部学生数

大学院学生数

2025 (令和7) 年5月1日 現在

研究科	課 程	専 攻	入学 定員	収容 定員	現 員														
					1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			総 計		
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文社会科学研究科	修 士	人文社会科学専攻	16	32	9	7	16	10	7	17							19	14	33
教育学研究科	専門職学位	教職実践専攻	18	36	11	9	20	12	8	20							23	17	40
医学研究科	博 士	医科学専攻	60	240	38	26	64	30	18	48	39	16	55	92	56	148	199	116	315
保健学研究科	修 士	心理支援科学専攻	6	12	2	5	7	2	5	7							4	10	14
	博士前期	保健学専攻	30	60	24	11	35	25	17	42							49	28	77
	博士後期	保健学専攻	12	36	8	3	11	11	2	13	16	11	27				35	16	51
理工学研究科	博士前期	理工学専攻	120	240	133	21	154	119	11	130							252	32	284
	博士後期	機能創成科学専攻	6	18	4	0	4	4	0	4	5	2	7				13	2	15
		安全システム工学専攻	6	18	3	7	10	6	4	10	4	2	6				13	13	26
		計	12	36	7	7	14	10	4	14	9	4	13				26	15	41
農学生命科学研究科	修 士	農学生命科学専攻	50	100	31	17	48	33	20	53							64	37	101
地域社会研究科	博士後期	地域社会専攻	6	18	7	1	8	4	2	6	14	6	20				25	9	34
地域共創科学研究科	修 士	地域リノベーション専攻	15	30	13	4	17	9	8	17							22	12	34
		産業創成科学専攻	15	30	4	7	11	7	7	14							11	14	25
		計	30	60	17	11	28	16	15	31							33	26	59
合 計			360	870	287	118	405	272	109	381	78	37	115	92	56	148	729	320	1,049

岩手大学大学院連合農学研究科 (博士後期課程) ※現員は弘前大学 (指導教員) に属する学生数 2025 (令和7) 年5月1日 現在

研究科	課 程	入学 定員	収容 定員	現 員														
				1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			総 計		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
連合農学研究科	博士後期	24	72	8	1	9	3	3	6	7	4	11				18	8	26

教育学部附属学校

2025 (令和7) 年5月1日 現在

区 分		総定員	学級数	現 員								
				1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		5 年次	6 年次		総 計
附属幼稚園		90	4	(3 歳児) 9		(4 歳児) 13			(5 歳児) 15			37
附属小学校		467	19	72	72	72	70		69	84		439
附属中学校		384	12	127	127	128						382
附属特別支援学校	小学部	18	3	(低学年) 6		(中学年) 5			(高学年) 6			17
	中学部	18	3	6	6	5						17
	高等部	24	3	5	6	8						19
合 計		1,001										911

学部卒業者数

学 部		令和6年度	累 計
人文社会科学部		276	1,576
人文学部		0	13,518
教育学部	4年課程	152	18,699
	2年課程		1,613
	計	152	20,312
医学部医学科		129	7,032
医学部保健学科		200	4,330
医学部心理支援科学科		10	19
理学部			5,112
理工学部		333	7,252
農学部			4,541
農学生命科学部		206	4,569
文理学部			1,392
合 計		1,306	69,653

※文理学部……昭和40年4月 人文学部、理学部に改組

※理学部・農学部…平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

大学院研究科修了者数

研究科		令和6年度	累 計
人文科学研究科	修士課程		111
人文社会科学研究科	修士課程	20	343
教育学研究科	修士課程		781
	専門職学位課程	15	116
医学研究科	博士課程	46	2,336
医学系研究科	修士課程		54
保健学研究科	博士前期課程	20	451
	博士後期課程	13	153
理学研究科	修士課程		844
理工学研究科	修士課程		153
理工学研究科	博士前期課程	123	1,925
	博士後期課程	7	126
農学研究科	修士課程		435
農学生命科学研究科	修士課程	56	995
地域社会研究科	博士後期課程	3	66
地域共創科学研究科	修士課程	31	103
合 計		334	8,992

※人文科学研究科(修士課程)……平成11年4月 人文社会学研究科(修士課程)に改組

※教育学研究科(修士課程)……平成6年4月～令和2年3月まで設置

※医学系研究科(修士、博士課程)…平成17年4月～平成19年3月まで設置

※理学研究科(修士課程)……平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組

※農学研究科(修士課程)……平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組

※理工学研究科(修士課程)……平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

専攻科

区 分	1960(昭和35)～ 1998(平成10)年度 合計
人文学専攻科(平成11年3月廃止)	41
教育専攻科 (平成6年3月廃止)	100
理学専攻科 (昭和53年3月廃止)	70
農学専攻科 (昭和46年3月廃止)	28

医療技術短期大学部

区 分	1975(昭和50)～ 2003(平成15)年度 合計
学科 (平成16年3月廃止)	4,615
専攻科(平成16年3月廃止)	548

学位授与者数

修士

専攻分野	令和6年度	累 計
文学		111
人文社会科学	20	343
教育学		781
教職修士(専門職)	15	116
看護学又は保健学	20	505
理学		844
理工学	123	2,078
農学		435
農学生命科学	56	995
地域共創社会学、地域共創工学、 地域共創農学又は地域共創経営学	31	103
合 計	265	6,311

博士

専攻分野	課程修了		論文審査		旧 制
	令和6年度	累 計	令和6年度	累 計	累 計
医 学	46	2,336	1	895	469
保健学	13	154	0	3	
理学又は工学	7	126	0	4	
学 術	3	66	0	7	
合 計	69	2,682	1	909	469

卒業・修了者 進路状況 (2024 (令和6) 年度)

2025 (令和7) 年5月1日 現在

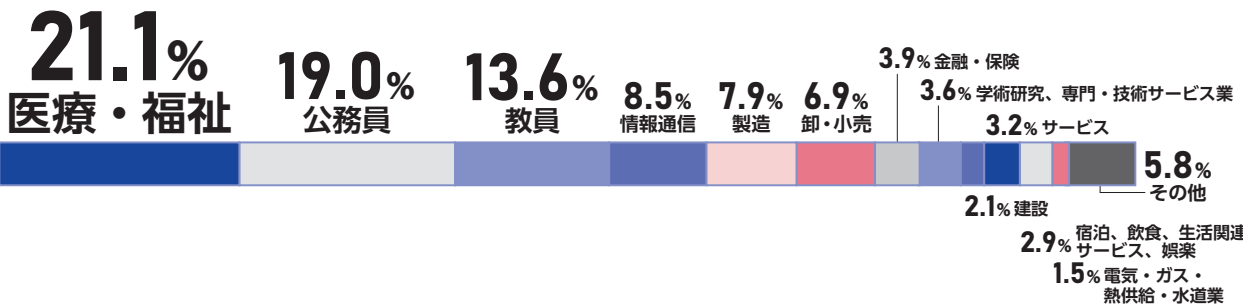
	区 分	卒業者数 修了者数			就職希望者数 (A)			就職者数 (B)			就職率 (B/A) (%)			未就職者数			進学者数			臨床研修医数			その他		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 部	人文社会科学部 (人文学部を含む)	109	167	276	97	148	245	93	145	238	95.9	98.0	97.1	4	3	7	4	5	9	0	0	0	8	14	22
	教育学部	45	107	152	38	98	136	38	98	136	100.0	100.0	100.0	0	0	0	5	6	11	0	0	0	2	3	5
	医学部医学科	70	59	129	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	65	59	124	5	0	5
	医学部保健学科	54	146	200	42	129	171	42	129	171	100.0	100.0	100.0	0	0	0	10	9	19	0	0	0	2	8	10
	医学部心理支援科学科	3	7	10	1	2	3	1	2	3	-	100.0	100.0	0	0	0	2	5	7	0	0	0	0	0	0
	理工学部	282	51	333	113	26	139	112	26	138	99.1	100.0	99.3	1	0	1	156	24	180	0	0	0	13	1	14
	農学生命科学部	107	99	206	69	68	137	69	68	137	100.0	100.0	100.0	0	0	0	30	28	58	0	0	0	8	3	11
	計	670	636	1,306	360	471	831	355	468	823	98.6	99.4	99.0	5	3	8	207	77	284	65	59	124	38	29	67
大学院	人文社会科学研究科	11	9	20	9	3	12	8	3	11	88.9	100.0	91.7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	6	8
	教育学研究科	9	6	15	9	5	14	9	5	14	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	医学研究科	30	16	46	30	16	46	30	16	46	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健学研究科 (博士前期)	11	9	20	10	8	18	10	8	18	100.0	100.0	100.0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
	保健学研究科 (博士後期)	10	3	13	10	3	13	10	3	13	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学研究科 (博士前期)	112	11	123	105	9	114	104	9	113	99.0	100.0	99.1	1	0	1	6	1	7	0	0	0	1	1	2
	理工学研究科 (博士後期)	4	3	7	4	2	6	4	2	6	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	農学生命科学研究科	41	15	56	33	13	46	33	13	46	100.0	100.0	100.0	0	0	0	6	1	7	0	0	0	2	1	3
	地域社会研究科	1	2	3	1	1	2	1	1	2	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	地域共創科学研究科	19	12	31	16	11	27	15	8	23	93.8	72.7	85.2	1	3	4	0	1	1	0	0	0	3	0	3
	計	248	86	334	227	71	298	224	68	292	98.7	95.8	98.0	3	3	6	13	3	16	0	0	0	8	12	20

学部卒業生 産業別の就職状況 (2024 (令和6) 年度)

2025 (令和7) 年5月1日 現在

学部	医療・福祉	公務員		学校教育					情報通信	製造	卸・小売	金融・保険	学術研究・専門・技術サービス業	建設	サービス	宿泊・飲食・生活関連サービス・娯楽	電気・ガス・熱供給・水道業	その他の産業	計
		国家公務	地方公務	小学校	中学校	高等学校	※教員その他	事務職員等											
人文社会科学部	9	22	48	0	1	3	0	2	22	12	28	23	13	6	12	14	4	19	238
教育学部	3	1	10	52	35	4	7	0	3	1	5	2	1	0	3	2	0	7	136
医学部保健学科	160	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	171
医学部心理支援科学科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
理工学部	0	7	19	0	3	1	0	1	33	34	2	4	8	5	8	1	6	6	138
農学生命科学部	0	12	28	1	1	4	0	1	11	18	22	3	8	6	3	6	1	12	137
計	174	42	114	53	40	12	7	4	70	65	57	32	30	17	26	24	12	44	823

※教員その他は幼稚園、幼保連携型認定こども園、特別支援学校、中等教育学校、高等専門学校、大学等の教員数



外国人留学生数

2025 (令和7) 年5月1日 現在

区分		学部等	国・地域名																						計
			アメリカ合衆国	イタリア共和国	インドネシア共和国	カナダ	コスタリカ	スリランカ民主社会主義共和国	セルビア	タイ王国	大韓民国	台湾	中華人民共和国	ドイツ連邦共和国	ニュージーランド	バングラデシュ人民共和国	フィリピン共和国	ブラジル連邦共和国	フランス共和国	マレーシア	ミャンマー	メキシコ	ルクセンブルク	ロシア連邦	
学部留学生	国費正規留学生	理工学部						1																	1
	私費正規留学生	人文社会科学部											7						3						10
		医学部医学科											1												1
		医学部保健学科											1												1
		理工学部											1						1						2
		農学生命科学部									1					1				1					3
	私費研究生	人文社会科学部											10												10
		教育学部											4												4
	特別聴講学生	人文社会科学部	4	5		2				2	3	4	9	2					3				1	1	36
		教育学部		3		1						1	16		1				1			1		1	25
		理工学部									2		4												6
		農学生命科学部									1	1													2
	国費日本語・日本文化研修留学生	人文社会科学部					1			1															2
		教育学部																1							1
	国費教員研修留学生	教育学部															1								1
大学院留学生	国費正規留学生	理工学研究科			2			1		1															4
		連合農学研究科														1									1
	私費正規留学生	人文社会科学研究科											12												12
		医学研究科											13												13
		保健学研究科			3					3															6
		理工学研究科											17												17
		農学生命科学研究科											9												9
		地域社会研究科											6												6
		地域共創科学研究科										1	13												14
		連合農学研究科			1								2			2									5
	私費研究生	人文社会科学研究科											1												1
	特別研究生	地域共創科学研究科											1												1
合 計 Total			4	8	6	3	1	1	1	7	7	7	127	2	1	4	1	1	4	4	1	1	1	2	194

[注] * 国費とは日本政府（文部科学省）奨学金留学生をいう。* * 連合大学院留学生を含む。

大学間交流協定 (57大学等)

2025 (令和7) 年5月1日 現在

国・地域		協定締結先	協定締結日
北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学マーチン校	1980年 7月 8日
		メーン州立大学	1997年 6月26日
		サンディエゴ州立大学	2001年 3月19日
		ハワイ大学コミュニティカレッジ	2017年10月30日
		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	2022年 5月16日
		コロラド州立大学	2024年 2月 5日
		ノースウェスト・ミズーリ州立大学	2024年 9月18日
	カナダ	マウント・ロイヤル大学	2005年 6月 1日
	チリ共和国	トンブソン・リバーズ大学	2006年10月19日
		ラ・フロンテラ大学	2002年 6月25日
ヨーロッパ	メキシコ合衆国	オアハカ州立自治ベニートファレス大学	2016年 5月13日
		メキシコ国立自治大学	2023年 3月17日
	フランス共和国	ボルドー・モンテニュー大学	1994年 1月31日
	ロシア連邦	イルクーツク大学	2002年 3月20日
	アイルランド	アイルランド環境保護庁	2019年 6月13日
	ルーマニア	ヒッペリオン大学	1998年 9月11日
		アレクサンドル・ヨアン・クザ大学	2020年 3月 9日
	ドイツ連邦共和国	トリア大学	1999年 5月 3日
	ハンガリー	デブレッセン大学	2000年12月22日
		カタール大学	2018年 3月27日
	イタリア共和国	トリノ大学	2020年11月11日
		ベネチア・カ・フォスカリ大学アジア・北アフリカ学部	2023年 3月29日
		ローマ・ラ・サピエンツァ大学	2024年 2月29日
		ナポリ東洋大学	2024年 3月 1日
オセアニア	ボスニア・ヘルツェゴビナ	東サラエボ大学	2023年 2月15日
		エストレマドゥーラ大学	2023年 2月20日
	ニュージーランド	オタゴ大学	2000年 9月20日
東アジア	中華人民共和国	哈爾濱師範大学	1995年 8月 1日
		延辺大学	2000年 8月28日
		鄭州大学	2000年10月12日
		大連理工大學	2009年12月28日
		新疆工程学院	2016年 9月23日
		青島農業大学	2016年12月26日
		太原理工大学	2017年 4月19日
		瀋陽化工大学	2017年11月20日
		中南林業科技大学	2019年 6月 5日
		東北大学	2019年12月 1日
		広東工業大学	2020年 5月27日
		遼寧石油化工大学	2022年 3月30日
	大韓民国	南ソウル大学校	2001年 6月 1日
		慶北大学校	2001年 7月11日
		釜山大学校	2001年12月12日
		京畿大学校	2002年 9月25日
	台湾	国立高雄大学	2016年11月17日
		開南大学	2016年11月18日
		馬偕醫學院	2017年10月30日
		国立屏東大学	2018年 4月10日
		中国文化大学	2019年 2月19日
		国立台北教育大学	2022年 8月16日
東南アジア	タイ王国	チェンマイ大学	2000年11月 2日
		コンケン大学	2008年 5月 6日
		タマサート大学	2017年 4月14日
	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2017年 4月11日
	インドネシア共和国	バンドン工科大学	2017年 5月 2日
		インドネシア原子力庁	2017年10月 3日
アフリカ	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	2018年 7月 2日
	アルジェリア民主人民共和国	オラン科学技術大学	2018年 3月 5日

部局間交流協定 (50大学等)

2025 (令和7) 年5月1日 現在

部局	国・地域		協定締結先	協定締結日
人文社会科学部	ヨーロッパ	フィンランド共和国	ヘルシンキ大学ルリア研究所	2009年 9月 7日
	東アジア	中華人民共和国	北京理工大学外国語学院	2022年 3月12日
			中国人民大学国学院	2024年10月12日
教育学部	北米・南米	アメリカ合衆国	サウスカロライナ大学	1994年 7月20日
医学研究科	北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学保健科学センター	1982年 5月19日
		ジャマイカ	西インド大学	2002年 2月25日
	ヨーロッパ	スロベニア共和国	リュブリャナ大学医学部	2014年11月28日
	東アジア	中華人民共和国	中国医科大学	2005年10月25日
		台湾	長庚大学医学部	2024年11月 6日
保健学研究科	北米・南米	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校看護・歯科衛生学科	2019年 8月29日
	ヨーロッパ	スウェーデン王国	ストックホルム大学放射線防護研究センター	2013年 3月 6日
	東アジア	台湾	台北医学大学看護学部	2019年 9月26日
理工学研究科	東アジア	中華人民共和国	河南理工大学理工系学部	2023年 9月28日
農学生命科学部	東アジア	中華人民共和国	中国瀋陽農業大学園芸学院	2015年11月 3日
		大韓民国	国立忠北大学農業生命環境学部	2018年12月 6日
		台湾	国立中興大学農業自然資源学部	2017年11月15日
	東南アジア	タイ王国	パヤオ大学エネルギー環境学部	2018年 8月 6日
		フィリピン共和国	ヌエヴァ・ヴィスカヤ州立大学	2023年 8月 1日
	南アジア	インド	アラガッパ大学理学部	2018年 8月 7日
			アラガッパ大学人文社会科学部	2018年 8月 7日
地域社会研究科	東アジア	中華人民共和国	中国農業大学国際発展・国際農業学院	2020年 6月 1日
医学部附属病院	東アジア	台湾	長庚記念病院	2023年11月30日
	東南アジア	カンボジア王国	カンボジア脳神経外科学会、株式会社 Kitahara Medical Strategies International	2024年 6月 6日
被ばく医療総合研究所	ヨーロッパ	ハンガリー	バンノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	2013年 3月18日
		フランス共和国	ストラスブール大学物理工学部	2019年10月30日
	東アジア	中華人民共和国	輻射防護研究所	2016年 5月 2日
			蘇州大学放射線医学・防護学部	2018年 5月21日
			中国復旦大学放射医学研究所	2019年 3月12日
			東華理工大学原子力応用技術研究所	2020年 9月14日
			衡陽師範学院物理・電子工学部	2021年 9月30日
		大韓民国	韓国原子力医学院緊急被ばく医療センター	2013年 1月21日
			東南圏原子力医学院	2016年 6月14日
	東南アジア	タイ王国	チュラロンコン大学工学部	2018年12月21日
			カセサート大学理学部	2022年12月 6日
			タイ原子力技術研究所	2023年12月 8日
			タイ原子力平和利用事務局	2024年 1月22日
		ベトナム社会主義共和国	ベトナム原子力研究所原子力科学技術研究所	2013年11月22日
		フィリピン共和国	フィリピン原子力研究所	2015年 6月30日
		インドネシア共和国	インドネシア原子力庁放射線安全・度量衡技術センター	2021年 6月18日
			ディボネゴロ大学医学部	2023年 3月 6日
	南アジア	インド	マンガロール大学環境放射能総合研究センター	2019年 8月19日
		バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ原子力委員会ダッカ原子力センター	2018年10月15日
	中央アジア	カザフスタン共和国	アスタナ医科大学放射線生物学・放射線防護研究所	2024年 4月16日
			カザフスタン国立科学医療センター	2024年 4月18日
			アスタナ医科大学、カザフスタン国立科学医療センター	2024年 4月18日
	アフリカ	ナイジェリア連邦共和国	アベオクタ連邦農業大学物理学部	2021年 9月30日
		ケニア共和国	ケニヤッタ大学	2023年10月30日
地域戦略研究所	東アジア	中華人民共和国	中国四川大学化学工学院	2016年 6月 8日
			山西大同大学化学・環境工程学院	2019年 5月22日
	ヨーロッパ	デンマーク王国	デンマーク工科大学風力エネルギー学科	2023年 3月30日

国内機関との連携・協力協定

弘前大学では、地域創生本部が策定した基本方針に基づき、積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

大学間協定

2025 (令和7) 年5月1日 現在

	協定締結日	協定締結先	協定事項
自治体	2005年10月 6日	青森県鰺ヶ沢町	産業振興、文化の育成・発展、まちづくり、人材育成、学術、その他
	2006年 9月19日	青森県弘前市	教育、人材育成、文化の育成・振興、産業振興、まちづくり、学術研究、健康・医療・福祉、自然・環境、その他
	2006年11月25日	青森県	人財、教育・研究、産業・雇用、健康・環境・エネルギー、安全・安心、その他
	2007年 5月 7日	青森県青森市	都市交通、自然・環境、産業振興、健康・医療・福祉、教育・文化、その他
	2008年12月22日	青森県西目屋村	教育・人材育成、文化の育成・振興、地域づくり、学術、健康づくり、医療・福祉、弘前大学白神自然観察園、その他
	2011年 9月29日	福島県浪江町	除染を含む環境改善、教育及び人材育成、文化の育成・振興、健康づくり・医療・福祉
	2015年 2月24日	青森県教育委員会	学校教育の充実・振興、社会教育・スポーツの振興、文化・芸術活動、文化財の保護と活用
	2015年 5月15日	青森県深浦町	地域産業の振興、文化の育成・発展、地域づくり、学術、地域人材の育成、その他
	2015年 6月12日	青森県藤崎町	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015年 7月 7日	青森県むつ市	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2016年 6月17日	青森県平川市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康づくり、ひとづくり・人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、学術の調査・研究、その他
	2017年 5月15日	青森県板柳町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2018年 7月19日	青森県田子町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2018年12月26日	青森県南部町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2019年 6月27日	青森県蓮田村	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2020年 7月21日	青森県東通村	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2021年 6月28日	青森県階上町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2021年 7月15日	青森県三戸町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2022年 4月25日	青森県黒石市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2022年 7月15日	青森県中泊町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2023年 2月28日	青森県七戸町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2023年 3月30日	青森県八戸市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2023年 4月14日	青森県五戸町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2023年 5月11日	青森県今別町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2023年12月15日	青森県大鰐町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2024年 1月26日	青森県鶴田町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2024年 5月21日	青森県十和田市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2024年 5月28日	青森県東北町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
その他企業等	2007年 4月25日	株式会社青森銀行	地域文化・地域産業の発展・地域の課題に関する情報交換、新技術・新規事業分野・事業化(大学発ベンチャー等)、教育、人材育成、生涯学習、地域経済研究、その他
	2007年 6月25日	株式会社みちのく銀行	地域経済活性化に関する情報交換及び支援、大学の研究成果等に関する情報交換及び支援、地域企業の研究開発ニーズ等の紹介支援、大学発ベンチャー企業に関する情報交換及び支援、その他
	2007年 8月 7日	サンスター株式会社	共同研究テーマの検討とこれに伴う研究者の交流、連絡協議会の開催、その他研究者の交流
	2009年 9月28日	地方独立行政法人青森県産業技術センター	人文科学、社会科学、自然科学の各分野及び研究者等交流
	2012年12月 6日	弘前商工会議所	地場産業の振興、地域活性化、地域支援、産学連携、地域人材の育成
	2013年 7月 2日	青森商工会議所	地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、産学連携、健康福祉の増進、人材の育成、その他
	2015年11月26日	青森県内8大学1高専、5自治体	[地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)]に係る連携・協力
	2016年 7月14日	北東北3大学、3銀行 (秋田大学、岩手大学、弘前大学) (秋田銀行、岩手銀行、青森銀行)	北東北三大学三銀行提携事業「地域TLOネットビックスプラス」の運営による包括提携
	2016年 7月21日	株式会社日本政策金融公庫	地域産業の振興、地方創生、地域振興に資する人材の育成、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月 4日	東奥信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月17日	青い森信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2018年 1月11日	青森県信用組合	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2018年 3月 5日	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	職員・学生等の交流、連携大学院教育、研究情報等の交換、施設及び設備の共同利用、共同研究、被ばく医療
	2019年 3月31日	福島県立医科大学 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 広島大学、長崎大学	線量評価、特に内部線量評価、人材育成及び人材交流、患者診療、その他
	2019年11月28日	株式会社商工組合中央金庫	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2020年10月30日	公益財団法人環境科学技術研究所	教員及び学生の相互交流、研究資料、刊行物及び研究情報の交換等、施設及び設備の共同利用、共同研究プロジェクト、その他
	2022年 4月 7日	青森県信用保証協会	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2022年 4月11日	農林中央金庫青森支店	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2023年 3月29日	公益財団法人21あおり産業総合支援センター	創業・起業、起業人材育成、大学の研究成果と地域企業のニーズ等のマッチング、オープンイノベーションを通じたビジネスマッチング等による交流促進や事業化支援、その他スタートアップ支援
	2024年 3月 6日	株式会社メディカルデータインテリジェンス	健康医療AIに関わる共同研究、健康医療AIの開発・運用のための健康ビッグデータの利活用、健康医療AIに関する知的財産権の活用方法、健康医療AIの社会実装促進のための開発と企業への橋渡し、健康増進プラットフォームにおける企業間連携の活性化施策、健康医療AIの研究開発及び研究成果の事業化を円滑に行うための連携や支援、その他産学連携の協力推進にかかる必要事項
	2024年11月26日	八戸商工会議所	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他

	協定締結日	協定締結先	協定事項
大学	2002年 5月22日	北東北国立3大学	単位互換に関する協定
	2003年 3月 6日	弘前学院大学	単位互換に関する協定
	2010年11月18日	放送大学	単位互換に関する協定
	2013年 4月25日	東北地区7国立大学法人	災害時連携協定
	2021年 3月17日	宇都宮大学、東京外国語大学、長崎大学	多文化共生教育推進のための情報交換、支援・協力、実施、その他
	2023年 6月 1日	名城大学	学術研究交流
	2023年 6月 1日	静岡社会健康医学大学院大学	学術研究交流
病院等	2018年10月 4日	独立行政法人国立病院機構 弘前市、青森県	津軽地域保健医療圏における新中核病院の整備及び運営に係る基本協定
	2024年 1月26日	青森県立中央病院、青森県	青森県の地域医療維持確保に向けた医師派遣等

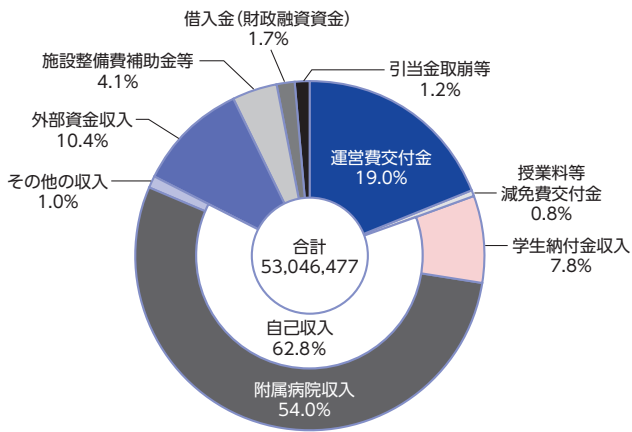
部局間協定

2025 (令和7) 年5月1日 現在

部局名	協定締結日	協定締結先	協定の形態等
人文社会科学部	2016年 5月24日	特定非営利活動法人青森県消費者協会	連携協力協定
	2017年 5月22日	一般社団法人GAP普及推進機構	連携協力協定
	2017年 5月30日	青森県社会保険労務士会	連携協力協定
	2019年 3月29日	国立大学法人名古屋大学大学院人文学研究所	連携協力協定
	2020年 2月21日	大学共同利用法人人間文化機構国立国語研究所	連携協力協定
	2020年 3月 3日	国立大学法人三重大学人文学部 国立大学法人島根大学法文学部	連携協力協定
	2020年12月24日	宮城県東原市教育委員会	連携協力協定
	2024年 3月 6日	青森県行政書士会	連携協力協定
教育学部	2008年 1月29日	むつ市教育委員会	連携協力協定
	2008年 2月 7日	青森県教育委員会	連携協力協定
	2008年11月26日	黒石市教育委員会	教員を目指す学生による教育活動支援
	2012年 1月27日	弘前市教育委員会	連携協力協定
	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・ 田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2017年 7月15日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館・ 弘前市教育委員会・青森県立郷土館・人文社会科学部	「津軽デジタル風土記の構築」プロジェクトの推進
	2020年 8月 6日	西目屋村教育委員会	連携協力協定
	2023年 4月 1日	特定非営利活動法人ひろだい多文化リソースルーム	連携協力協定
	2023年12月26日	つがる市教育委員会	連携協力協定
	2024年 1月29日	八戸市教育委員会	連携協力協定
医学研究科	2005年 4月 1日	弘前市(2005年は岩木町)	「岩木健康増進プロジェクト」事業実施協定
	2013年11月14日	弘前市教育委員会	連携協力協定
	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町 田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2015年 8月 1日	名城大学総合研究所	学術研究交流協定
	2016年 4月 1日	弘前市	「いきいき健診」事業実施協定
	2020年11月 9日	弘前市	健康増進に関する連携協力協定
	2023年 6月 1日	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構	学術研究交流協定
	2024年 1月29日	八戸市教育委員会	連携協力協定
保健学研究科	2022年 5月27日	弘前市教育委員会	連携協力協定
	2023年 7月24日	一般財団法人青森県薬剤師会食と 水の検査センター	連携協力協定
理工学研究科	2016年 3月10日	函館工業高等専門学校	学術交流協定
	2020年 1月10日	東北大学学術資源研究公開センター	連携協力協定
	2022年12月 2日	八戸工業高等専門学校・岩手大学理工学部・ 秋田大学大学院国際資源学研究所・ 秋田大学大学院理工学研究科・ 一関工業高等専門学校・秋田工業高等専門学校	学術交流協定
医学部附属病院	2015年10月 5日	株式会社ローソン	災害時における物資の調達に関する協定
	2018年 3月30日	弘前ガス株式会社	災害発生時等におけるガス優先供給に関する協定
	2024年 7月 3日	弘前地区消防事務組合	大規模災害等における連携協定
被ばく医療総合研究所	2017年12月22日	福島大学環境放射能研究所	連携協力協定
地域戦略研究所	2014年 3月27日	むつ市	連携協力協定(旧新エネ研にて締結)
	2014年 7月22日	深浦町	連携協力協定(旧食料研にて締結)
	2014年12月15日	深浦町、株式会社オカムラ食品工業	サーモン養殖実証事業に関する三者連携協定(旧食料研にて締結)
	2015年 1月15日	むつ市	連携協力協定(旧食料研にて締結)
	2015年11月19日	学校法人野又学園函館短期大学 付設調理製菓専門学校	連携・協力に関する協定(旧食料研にて締結)
	2016年 1月28日	函館短期大学付設調理製菓専門学校、 株式会社fun function	「北日本食の成長戦略」実現に向けた三者連携(旧食料研にて締結)
	2017年 7月20日	株式会社みちのく銀行	新エネルギー分野における連携・協力に関する協定(旧新エネ研にて締結)
	2017年 9月26日	むつ市、中部電力株式会社	むつ市燧岳地域地熱資源開発のための調査事業に関する連携協定
	2019年 2月22日	長崎大学海洋未来イノベーション機構	連携協力協定

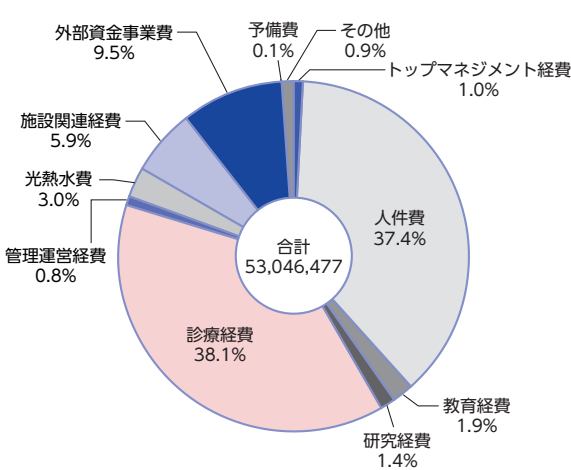
収入 (2025(令和7)年度) 単位：千円

区 分	収入額
運営費交付金	10,092,441
授業料等減免費交付金	397,039
自己収入	33,333,175
学生納付金収入	4,151,766
附属病院収入	28,654,360
その他の収入	527,049
外部資金収入	5,521,367
施設整備費補助金等	2,157,363
借入金（財政融資資金）	919,578
引当金取崩等	625,514
合 計	53,046,477



支出 (2025(令和7)年度) 単位：千円

区 分	支出額
トップマネジメント経費	538,396
人件費	19,835,552
教育経費	1,026,206
研究経費	733,874
診療経費	20,198,565
管理運営経費	405,310
光熱水費	1,615,721
施設関連経費	3,119,064
外部資金事業費	5,064,456
予備費	50,000
その他	459,333
合 計	53,046,477

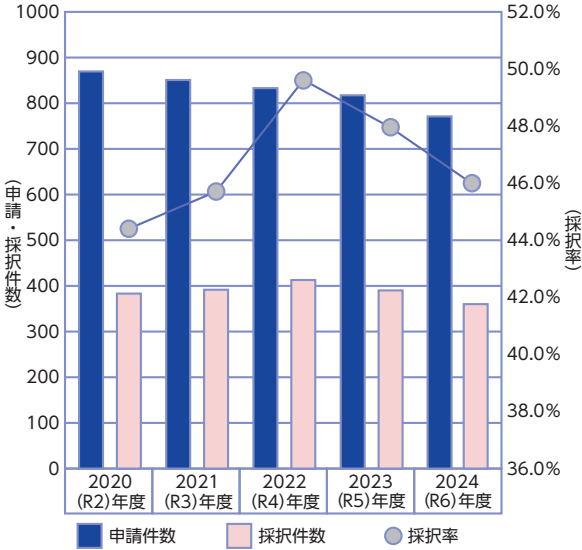


科学研究費助成事業 (2025(令和7)年度) 単位：千円

研究種目	件数	配分額		
		直接経費	間接経費	計
学術変革領域研究 (A・B)	3	19,200	5,760	24,960
基盤研究 (S)	0	0	0	0
基盤研究 (A)	4	36,800	11,040	47,840
基盤研究 (B)	50	214,300	64,290	278,590
基盤研究 (C)	222	225,150	67,545	292,695
挑戦的研究 (開拓・萌芽)	5	7,000	2,100	9,100
若手研究	73	71,000	21,300	92,300
研究活動スタート支援	1	1,100	330	1,430
海外連携研究	3	15,200	4,560	19,760
合 計	361	589,750	176,925	766,675

※件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(令和7年4月現在)
 ※基金種目の継続課題については、令和7年度支払請求額を計上した。
 ※挑戦的研究、研究活動スタート支援は令和7年6月以降に内定が出るため、継続分のみを計上している。
 ※海外連携研究は令和6年度公募をもって公募を終了したため、継続分のみを計上している。

科学研究費助成事業申請・採択状況



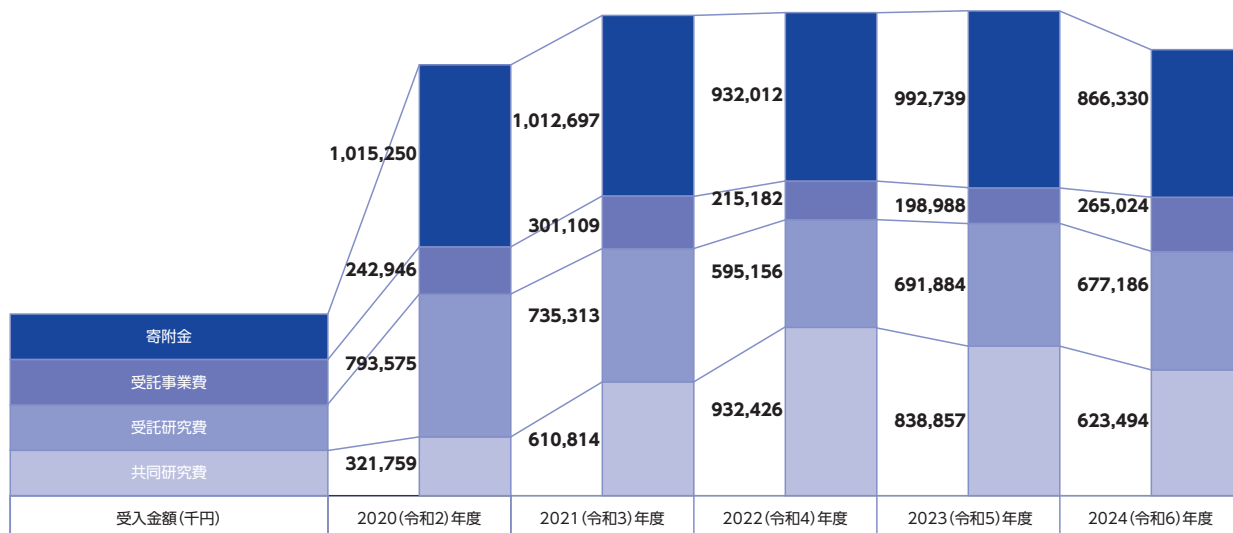
外部資金受入状況（2024（令和6）年度）

部局等	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
人文社会科学部	6	4,431	10	15,886	3	2,881	5	3,200
教育学部	6	1,941	2	1,888	8	16,292	9	5,484
医学研究科	56	515,089	25	165,772	2,557	113,376	315	633,538
保健学研究科	8	6,690	11	13,823	7	7,557	7	4,821
医学部附属病院	0	0	105	194,495	40	18,723	45	18,728
理工学研究科	38	60,450	18	59,324	5	8,001	36	34,885
農学生命科学部	25	26,504	13	15,924	6	48,961	34	41,516
地域社会研究科	4	2,145	2	3,129	-	-	-	-
地域共創科学研究科	-	-	-	-	-	-	1	750
被ばく医療総合研究所	-	-	3	15,891	7	42,413	4	5,740
地域戦略研究所	7	6,244	5	178,093	3	2,769	-	-
附属図書館	-	-	-	-	-	-	4	2,163
事務局	-	-	2	12,961	2	4,051	992	115,505
合 計	150	623,494	196	677,186	2,638	265,024	1,452	866,330

※件数：複数年契約を含む。
 ※医学研究科の受託事業費に司法解剖・病理組織検査料等を含む。
 ※医学部附属病院の受託研究費に治験等を含む。
 ※医学部附属病院の受託事業費に受託実習生等を含む。

外部資金受入状況（年度別）

区分	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
2020（令和2）年度	138	321,759	148	793,575	2,470	242,946	2,892	1,015,250
2021（令和3）年度	156	610,814	173	735,313	2,472	301,109	3,402	1,012,697
2022（令和4）年度	179	932,426	164	595,156	2,518	215,182	1,516	932,012
2023（令和5）年度	171	838,857	220	691,884	2,642	198,988	1,372	992,739
2024（令和6）年度	150	623,494	196	677,186	2,638	265,024	1,452	866,330



文京町地区



- 01** 旧制弘前高等学校外国人教師館
(弘大カフェ)
- 02** 案内所(守衛所)
- 03** 事務局
- 04** 保健管理センター
- 05** 創立50周年記念会館
- 06** 総合教育棟
- 07** 人文社会科学部
- 08** 附属図書館
- 09** 大学会館
- 10** 学生食堂
- 11** 教育学部
- 12** 資料館
- 13** 保健学研究科文京町別館
- 14** オープンイノベーションプラザ
- 15** 第一体育館

- 16** 弓道場
- 17** 附属地震火山観測所
- 18** 情報連携統括本部情報基盤センター
- 19** 附属遺伝子実験施設
- 20** 創立60周年記念会館コラボ弘大
- 21** コラボレーションセンター
- 22** 理工学部1号館
- 23** 理工学部2号館
- 24** 農学生命科学部
- 25** 温室
- 26** 第二体育館
- 27** 武道場
- 28** サークル棟



創立50周年記念会館

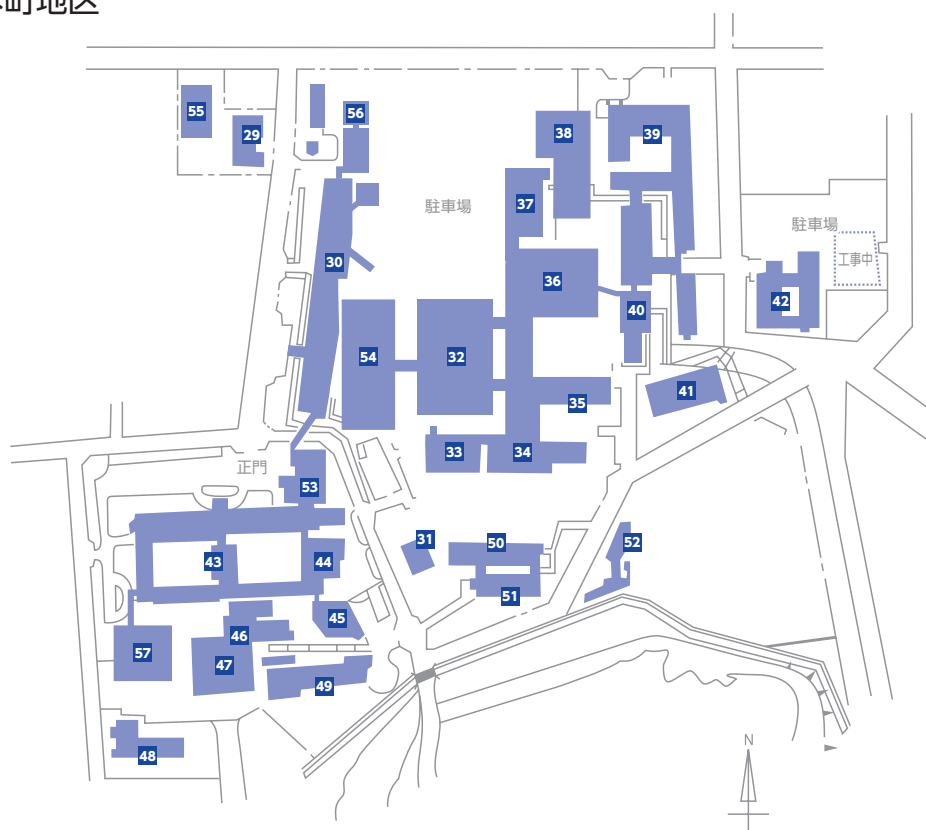


創立60周年記念モニュメント 金作品「幸せのリング」
宮田亮平氏作(元東京藝術大学長、前文化庁長官)
(創立50周年記念会館1フロビー内)



創立60周年記念会館
コラボ弘大

本町地区



- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 29 医学部コミュニケーションセンター | 44 附属図書館医学部分館 |
| 30 臨床研究棟 | 45 基礎講義棟 |
| 31 講義棟 | 46 アイソトープ総合実験室 |
| 32 外来診療棟 | 47 附属動物実験施設 |
| 33 エネルギーセンター | 48 本町地区共同利用施設 |
| 34 新臨床研究棟※工事中 | 49 社会医学棟 |
| 35 第二病棟 | 50 学生支援センター 1号棟 |
| 36 中央診療棟 | 51 ひろだい保育園 |
| 37 高度救命救急センター | 52 学生支援センター 2号棟 |
| 38 立体駐車場 | 53 健康未来イノベーションセンター |
| 39 保健学研究科・医学部心理支援科学科 | 54 入院棟東 |
| 40 被ばく医療総合研究所 | 55 西別棟 |
| 41 体育館 | 56 多目的棟 |
| 42 看護師宿舎 | 57 グローバルWell-being総合研究棟 |
| 43 医学研究科 | |



総合研究棟（臨床系）及び第二病棟



高度救命救急センター



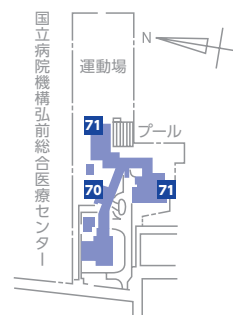
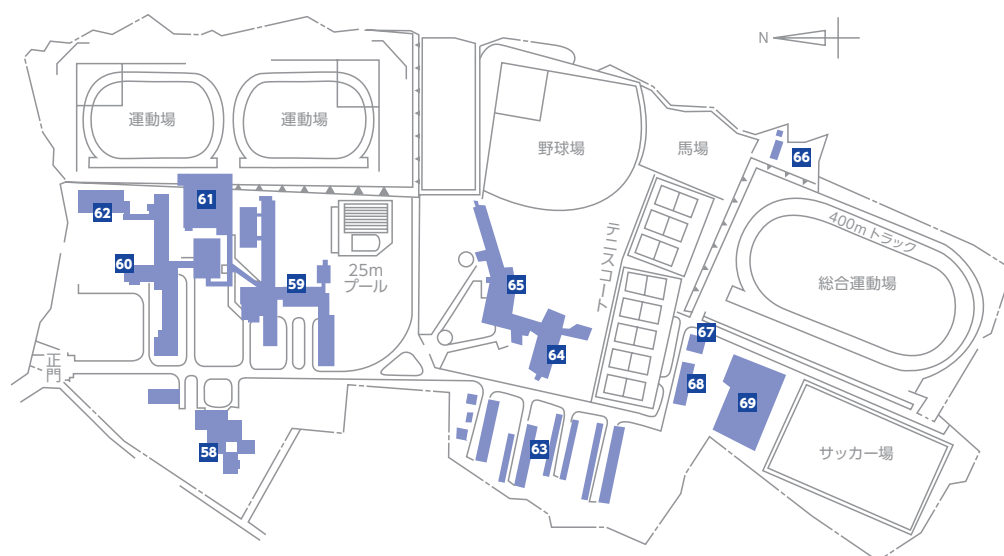
健康未来イノベーションセンター



ひろだい保育園

学園町地区

富野町地区



- 58 附属幼稚園
- 59 附属小学校
- 60 附属中学校
- 61 附属小・中体育館
- 62 武道場

- 63 職員宿舎
- 64 北鷹寮(男子)
- 65 朋寮(女子)
- 66 馬房
- 67 合宿所
- 68 体育管理施設
- 69 屋内プール

- 70 附属特別支援学校
- 71 屋内体育館



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

藤崎農場



- 72** 管理棟
- 73** 加工舎
- 74** リンゴ低温倉庫
- 75** 果樹根実験施設
- 76** 小農具舎
- 77** 大農具舎
- 78** 収納調整舎
- 79** 収納舎

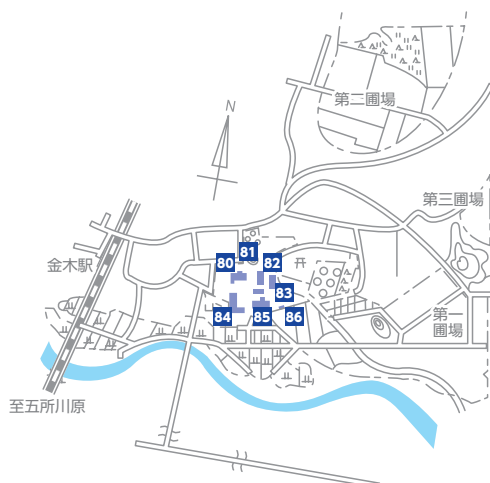


管理棟



ビーターパンチュウリップ園

金木農場

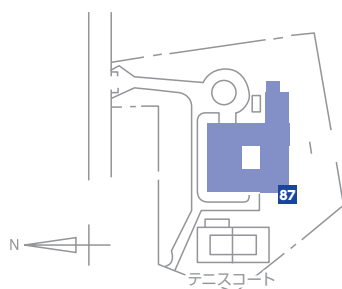


- 80** 管理棟／宿泊施設
- 81** 宿泊棟
- 82** 多目的舎
- 83** アップルビーフ
特別生産牛舎
- 84** 農機具舎
- 85** 繁殖舎
- 86** 肥育舎



繁殖舎

緑ヶ丘地区



- 87** 北溟寮 (男子)

桔梗野地区



- 88** 国際交流会館
- 89** 職員宿舎



北溟寮 (男子)



国際交流会館

土地・建物

2025 (令和7) 年5月1日 現在

区 分			土地(m)	建物延面積 (㎡)
文京町地区	人文社会科学部		135,267	6,089
	教育学部	教育学部		16,929
	保健学研究科	文京町別館		541
	理工学研究科	理工学研究科		22,663
		理工学研究科附属地震火山観測所		268
	農学生命科学部	農学生命科学部		13,215
		コラボレーションセンター		4,582
		農学生命科学部附属遺伝子実験施設		1,527
	総合教育棟			11,895
	附属図書館			6,131
	保健管理センター			477
	情報連携統括本部情報基盤センター			2,351
	オープンイノベーションプラザ			296
	コラボ弘大			3,758
	創立50周年記念会館			1,515
	大学会館・食堂			4,952
	体育施設	第一・第二体育館・多目的広場		3,394
	課外活動施設	弓道場・武道場、サークル棟 等		2,230
	本部管理施設等	事務局、外国人教師館 他		4,288
	小 計			135,267
学園町地区	教育学部附属幼稚園		176,403	1,065
	教育学部附属小学校			8,288
	教育学部附属中学校			8,209
	学生寄宿舎			6,372
	総合運動施設			3,077
	職員宿舎			6,416
	小 計		176,403	33,427
本 町 地 区	医学研究科・保健学研究科・医学部心理支援科学科		95,226	71,455
	グローバル Well-being総合研究所			2,827
	医学部附属病院			78,041
	看護師宿舎(研修医宿舎)			2,350
	女性医師支援施設			250
	医学部コミュニケーションセンター			894
	体育施設	野球場、体育館		1,457
	小 計		95,226	157,274
富野町地区	教育学部附属特別支援学校		10,605	3,874
	教育学部附属特別支援学校実習施設		1,602	33
	小 計		12,207	3,907
桔梗野地区	国際交流会館		3,143	2,030
	職員宿舎		5,147	2,963
	小 計		8,290	4,993
緑ヶ丘地区	学生寄宿舎		9,631	3,279
紙漉町地区	文京荘(工事中)		2,161	581
その他	農学生命科学部附属 生物共生教育研究 センター	藤崎農場	142,607	2,370
		金木農場	358,798	4,806
	農学生命科学部	深浦実験所	798	165
		農業実習地	10,812	47
	深浦ハウス		6,632	159
	地域戦略研究所	食料科学研究部門	(818)	(618)
	農学生命科学部附属白神自然環境研究センター・白神自然観察園		(178,560)	255
	理工学研究科附属 地震火山観測所	岩崎・三蔵・泊 地震観測点	(1,888)	100
		梵珠山・濱横沢・百沢 火山観測点	(546)	45
	納骨堂・埋骨堂		(48)	8
	その他		3,676	500
	合 計			1,144,368

※ () は借用

体育施設

2025 (令和7) 年5月1日 現在

区 分		所在地	面積	備 考
屋内施設	第一体育館	文京町	1,828	
	第二体育館	文京町	1,566	
	体育館	本 町	1,457	
	弓道場	文京町	140	
	武道場	文京町	756	柔道場、剣道場、 合気道場、 空手道場
	水泳プール	学園町	2,398	50メートル・ 9コース
	計		8,145	
屋外施設	多目的広場	文京町	12,144	サッカー、 ラグビー、 アメフト、 ソフトボール等 の練習
	野球場	南塘町	9,981	
	総合運動場	学園町	61,484	陸上競技場 (400 ^{メートル} トラック)、 サッカー・ アーチェリー場、 テニスコート8面、 馬房、野球場
	計		83,609	
	合 計		91,754	

学生寮

2025 (令和7) 年5月1日 現在

寮 名	面積	設置年度	室数	入居者数
北冥寮 (男子)	3,279	昭和40	106	100
朋寮 (女子)	3,498	昭和42	117	114
北鷹寮 (男子)	2,874	昭和43	100	99
合 計	9,651		323	313

国際交流会館

2024 (令和6) 年5月1日 現在

区 分	面積	施設の概要
A 棟	982	Aタイプ:31、 共用部分:事務室、ラウンジ、 ランドリー室
B 棟	1,048	Bタイプ:11、Cタイプ:7
合 計	2,030	

サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。



八戸サテライト

弘前大学八戸サテライトは、八戸市を含む県南地域における弘前大学の総合窓口として、産学官の研究協力、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、周辺地域との連携を推進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 産学官連携事業（科学技術相談、共同研究等）の実施
2. 地域企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 公開講座、講演会及び遠隔教育等の実施
4. 広報活動（入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等）
5. その他八戸サテライトの設置目的を達成するための事業

所在地	〒031-8511 青森県八戸市堀端町2-3 八戸商工会館1階
TEL	0178-43-1600
H P	https://home.hirosaki-u.ac.jp/hachinohe-satellite/



青森サテライト

弘前大学青森サテライトは、青森市における弘前大学の総合窓口として、各種相談等の対応、並びに青森市周辺地域との連携を推進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 産学官連携事業（科学技術相談、共同研究等）の実施
2. 地域企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 広報活動（大学紹介資料等の閲覧・配布等）
4. その他青森サテライトの設置目的を達成するための事業

所在地	〒038-0012 青森県青森市柳川2-1-1 青森市役所柳川庁舎1階
TEL	017-766-3500
H P	https://chiiki.hirosaki-u.ac.jp/satellite/aomori/



札幌サテライト

弘前大学札幌サテライトは、北海道の高等学校への広報活動や本学学生の就職支援の拠点とし、これまでの活動をさらに強化するとともに、北海道在住の本学卒業生とのネットワーク構築を進めることを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 入学者選抜の広報活動
2. 在校生の就職活動支援
3. その他札幌サテライトの設置目的を達成するための事業

所在地	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階
H P	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/sapporo-satellite/



東京事務所

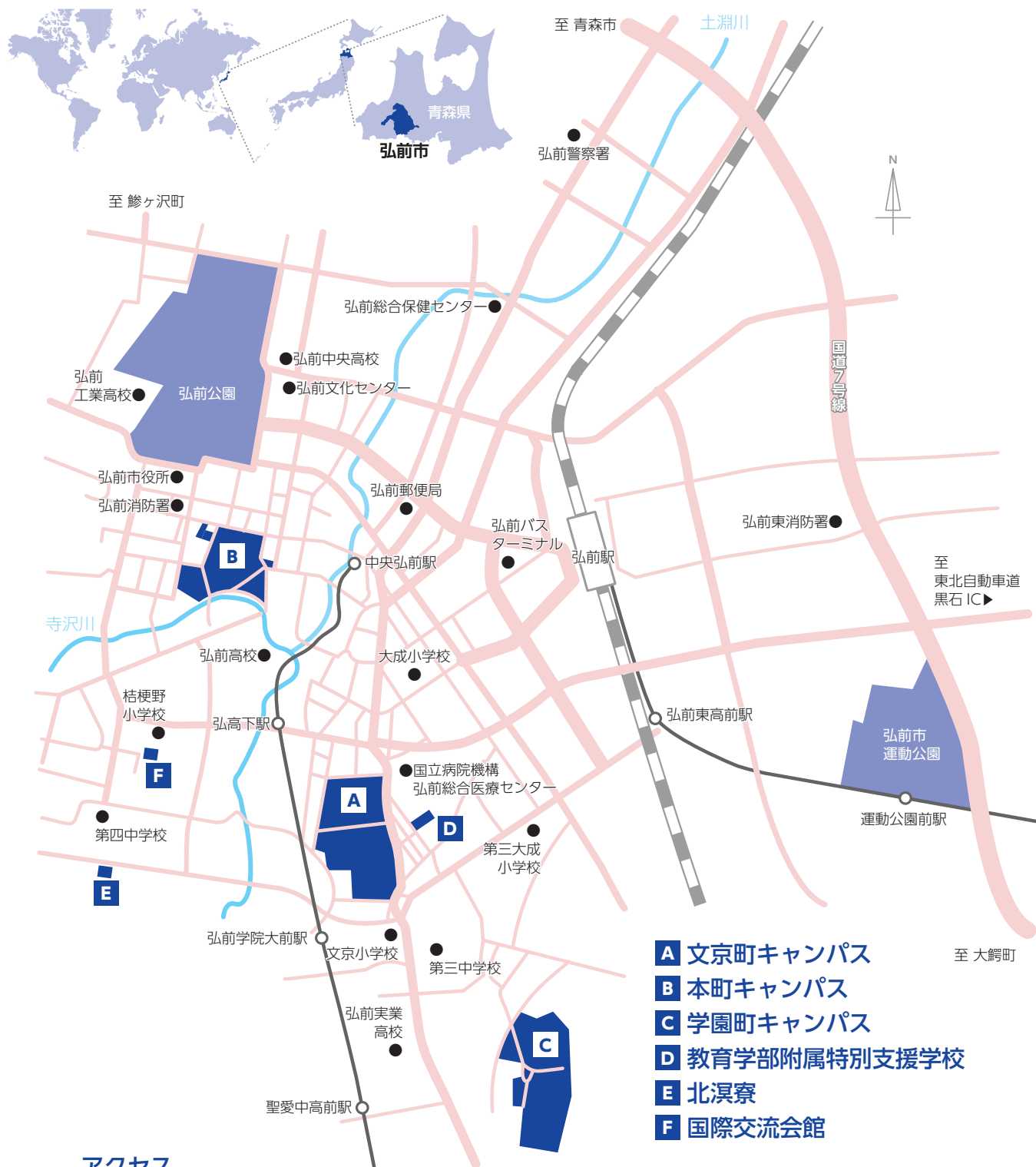
弘前大学東京事務所は、首都圏における産学官連携を強化するとともに、本学の研究シーズを広く公開し、共同研究、技術移転等による外部資金の導入を促進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 産学官連携事業（科学技術相談、共同研究及び技術移転等）の実施
2. 首都圏における企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 研究シーズ発表会、パネル展示会及び講演会等の実施
4. 広報活動（入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等）
5. 首都圏での就職活動支援（荷物置場、資料印刷、PC貸出、休憩スペース）
6. その他東京事務所の設置目的を達成するための事業

所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町7階703
TEL	03-3519-5060
H P	https://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/

部局等所在地

	部局等名	所在地	TEL
文京町キャンパス	事務局	〒036-8560 弘前市文京町1	0172-36-2111 (大代表)
	人文社会科学部		
	教育学部		
	教育学部附属教育実践総合センター		
	教育学部附属教員養成学研究開発センター		
	教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センター		
	保健学研究科文京町別館		
	地域社会研究科		
	地域共創科学研究科		
	保健管理センター		
	男女共同参画推進室		
	出版会		
	資料館		
	国際連携本部		
	地域創生本部		
	情報連携統括本部		
	附属図書館		
	オープンイノベーションプラザ		
	創立50周年記念会館		
	旧制弘前高等学校外国人教師館		
	理工学研究科	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-75-3026
	理工学研究科附属地震火山観測所	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	
	理工学研究科寒地気象実験室	〒036-8561 弘前市文京町3	
	農学生命科学部	〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1	
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設	〒037-0202 五所川原市金木町芦野84	
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター-金木農場	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター-白神自然観察園	〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173	
	農学生命科学部附属深浦実験所	〒036-8561 弘前市文京町3	
附属学校園	情報連携統括本部情報基盤センター	0172-36-2111 (大代表)	
	研究・イノベーション推進機構共用機器基盤センター		
	教育学部附属幼稚園	0172-32-6815	
	教育学部附属小学校	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-7202
学寮 宿泊施設	教育学部附属中学校		0172-32-7201
	教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76	0172-36-5011
	北鷹寮(男子寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-2910
	朋寮(女子寮)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4	0172-33-7337
	北冥寮(男子寮)	〒036-8227 弘前市桔梗野2-20-17	0172-37-6854
本町キャンパス	国際交流会館	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229	0172-36-2111 (大代表)
	深浦ハウス		
	医学研究科	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111 (大代表)
	医学研究科附属バイオメディカルリサーチセンター		
	医学研究科附属動物実験施設		
	医学研究科附属子どものこころの発達研究センター		
	医学研究科附属健康未来イノベーションセンター		
	医学研究科附属地域基盤型医療人材育成センター		
	医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター		
	アイソトープ総合実験室		
	附属図書館医学部分館	〒036-8563 弘前市本町53	0172-39-5240
	医学部附属病院	〒036-8311 弘前市相良町26	
	医学部附属病院看護師宿舎(研修医宿舎)	〒036-8203 弘前市本町40-1	
	医学部コミュニケーションセンター	〒036-8564 弘前市本町66-1	
研究所	保健学研究科・医学部心理支援科学科	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-33-5111 (大代表)
	被ばく医療総合研究所	〒036-8561 弘前市在府町5	0172-39-5401
	地域戦略研究所(新エネルギー研究部門・戦略企画部門)	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-39-3733
	地域戦略研究所(食料科学研究部門)	〒038-0012 青森市柳川2-1-1	017-763-5028
	グローバルWell-being総合研究所	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111 (大代表)



アクセス

東京	東北新幹線 (約3時間10分)		新青森駅	JR 特急 (約30分)	弘前駅	土手町循環 100円バス (約15分)		大学病院前	本町 キャンパス
	飛行機 (約1時間20分)		青森空港	弘南バス (約55分)		*6番 駒越線 (約15分)			
札幌	JR特急 (約3時間30分) 新函館北斗駅 北海道新幹線 (約1時間10分)		新青森駅	JR 特急 (約30分)		*8番 金属団地・桜ヶ丘線 (約15分)	本町		
	飛行機 (約45分)		青森空港	弘南バス (約55分)		*3番 小栗山・狼森線 (約15分) 学園町線 (約15分)	弘前大学前または弘大農学生命科学部前		文京町 キャンパス
盛岡	高速バス ヨーデル号 (約2時間15分)					*3番 学園町線 (約25分)	学園町		
仙台	高速バス キャッスル号 (約4時間20分)								

* 中央口のりば



編集・発行

弘前大学総務部広報・情報戦略課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

URL <https://www.hirosaki-u.ac.jp/>

表紙デザイン 石川善朗氏(元弘前大学教育学部教授)監修、清藤慎一郎氏(弘前大学大学院教育学研究科修了)制作



弘前大学
ホームページ



ウェブマガジン
「HIROMAGA」



HIROSAKI
UNIVERSITY